

人文学科

■ 基盤講義

220001 人文学入門

【到達目標】

- ・ 人文学の基本的な内容を理解する。
- ・ 各分野の学問の基礎を学ぶとともに、人文学全体を見渡す広い視野を身につける。
- ・ 授業中に触れた参考文献を軸に、書物を読む基本的な姿勢を身につける。

【概要】 人文学は人間の知的・文化的な営みと成果を探究することを目指す学問である。この講義では、人文学科の3つの専攻、哲学・日本文学・歴史文化の探究の一端をそれぞれ紹介する。これによって人文学の課題や研究方法の基礎を学ぶ。それと同時に、他の専攻とのつながりや共通点についても学ぶことにより、人文学の知の全体を広く眺め、大きな視野から人間の文化を探究する基本姿勢を身につける。授業は3つの専攻の教員によるチェーン・レクチャー方式で進める。

220002 宗教史

【到達目標】

- ・ 宗教の基本的特質を十分に理解できる力を養う。
- ・ 宗教について通時的な把握が十分にできる力を養う。

【概要】 キリスト教、仏教をはじめとする世界の諸宗教の成立と発展の歴史を概観する。このような個別の宗教の具体的な成立とその歴史の知識を基本にしなが、宗教とはそもそも何であるかについて、基本的視野を獲得する。

220003 法学概論

【到達目標】

- ・ 政治学の基礎概念についての知識を習得する。
- ・ 政治の現状を政治学の基礎概念を用いて操作可能な形で批判的に理解する能力を養う。

【概要】 公の空間においてはすべての問題が政治的問題化となる。したがって環境問題や食品偽装問題も政治学の対象になる。また時代が変わっても政治的なるものの本質は変化しない。そのようなスタンダードな政治学を国際政治学まで含みながら講義する。政治思想、政治意識、政治指導者と大衆、官僚制、政党、マスメディアの政治的機能、政治体制論、更に、国際政治に関しても講義する。

220004 政治学概論

【到達目標】

- ・法律・法制度に関する基本的な知識を習得する。
- ・ものごとに対する法的な考え方を理解する。
- ・現代社会の諸問題を法的観点から分析する能力を獲得する。

【概要】 法律学の基礎を学ぶ。法とは何か、また社会と個人との関係を構築する法的な思考を養う。現代社会において法律の果たす役割を学び、法的な考え方を理解させる。個人の人権や権利が侵害されたときに、いかにして法律を利用してその擁護を図るかが課題である。日本国憲法と民法の基礎部分、さらに社会との関連で行政法などにふれた後で、国際法の基礎的な要素も考察する。

220005 ミクロ経済学入門

【到達目標】

- ・経済学的思考法を身につける。
- ・ミクロ経済学の基礎的な概念と理論を正確に理解する。
- ・市場メカニズムの機能と限界を理解する。
- ・概念や理論と現実の経済の動きを比較対照する姿勢を身につける。
- ・概念や理論を現実に応用しようとする姿勢を身につけ、経済に対する問題意識を持つ。

【概要】 経済全体の動きを大きく捉えようとするマクロ経済学に対して、ミクロ経済学は、消費者や企業による消費や生産という身近な経済活動を出発点として、希少な資源の有効活用という問題に対して市場がどのような働きをしているのかを分析するものである。「ミクロ経済学入門」では、経済学を専門としない学生も対象として、経済学的な考え方に慣れ親しむことから始める。その上で、基本的なミクロ経済学の知識を身に付け、現実の経済についての理解を深めることができるようにしてゆきたい。

220006 マクロ経済学入門

【到達目標】

- ・複雑な現象を「抽象化」して理解する方法に慣れていく。
- ・身近な経済現象をシステムとして捉えることができるようになる。
- ・マクロ経済学の基本的な用語、概念、理論を習得する。
- ・国境を越えて連関する日米の経済問題を理解する。

【概要】 経済がグローバル化した今日では、一国で発生したマクロ経済問題が、瞬時に他国に影響を及ぼすことになる。そうしたマクロショックは金融システムや景気や雇用を通じて私たちの生活に影響を及ぼす。この授業の主軸は、マクロ経済学の基礎的な概念と理論を学ぶことであるが、金融政策と財政政策の観点から日本経済が直面する諸問題と課題を理解することをも目指す。

220007 社会学概論Ⅰ

【到達目標】

- ・社会学の対象と方法を理解する。
- ・社会学のキーテーマを把握する。
- ・社会的なもの見方の特徴をつかむ。

【概要】 社会学の対象と方法を明確化し、社会学とはどういう学問かをしっかりと理解することを目標とする。人々のあいだから生み出されるさまざまな事象、たとえば行為、集団、組織、規範、儀礼、役割、自我、支配／服従、「個人と社会」など、多種多様なものごとを社会学の観点から見ていくために必要な基礎的手続きや方法を学ぶ。

220008 社会学概論Ⅱ

【到達目標】

- ・社会学の主要な研究領域を把握する。
- ・各研究領域における代表的な社会学知を理解する。

【概要】 社会学の代表的な研究領域、たとえば生産と消費、監視、リスク、国民国家、共同体、ネットワーク、世論、メディア、近代家族、親密性、ジェンダー、学校、医療、労働、文化、階層などについて、何が問題とされ、何が発見されてきたのかを理解することを目標とする。社会学という道具を用いて今ある「社会」を、またその「社会」とかかわり合って暮らす自分自身を捉えなおす作業を通じて、具体的な研究領域に分け入り学習を進めていくための基礎を固める。

■特殊講義

220101 人文学総合講義

【到達目標】

- ・共通の問題に対する哲学・文学・史学それぞれのアプローチの相違や接点を理解する。
- ・専攻する領域の方法を相対化した上で、自覚的な「読み方」「論じ方」を身につける。
- ・人文学の可能性を、現代社会を生きる「わたし」という観点から探究する姿勢を身につける。

【概要】 専攻での専門的な修学を一定まで進めた段階にある3年生を対象に、あらためて、自身の専攻領域が、同じ人文学として接し合う近隣領域とどのようにつながり、また、学問手法がどのように異なるかを認識させることで、人文学の広がりや豊かさを深く考えさせ、人文学の意義を再確認することを目指す。3専攻からの担当者が共通の問題を設定し、具体的なテキストを素材に、各専攻の学問領域に基づく視点や方法に即した読み方の可能性を提示してみせる。授業は3専攻の教員によるチェーン・レクチャー方式で進める。

220102 書道

【到達目標】

- ・指導者としてふさわしい漢字・仮名の基本的な筆使いを習得する。
- ・書道の歴史、古典作品を理解し、臨書ができるようにする。
- ・書道の芸術性を理解し、自分なりの作品を作成する力量を身につける。

【概要】 国語科指導者としての書道（書写）を養うと共に、書道の芸術性についても理解を深めることを目標とする。毛筆に親しむことから始め、基礎的な書写技能の向上と定着を図る。漢字・仮名の基本的用筆法、古典の鑑賞、臨書など書道芸術の多様性について理解を深める。

220103 人文地理学

【到達目標】

- ・人文地理学の研究対象を理解し、その研究方法を習得する。
- ・地図の活用法を習得する。
- ・将来、地理教育の現場に立った際、調べ学習などの教材になりうるテーマを習得する。

【概要】 人文地理学の主要分野である地理教育史・歴史地理学・社会文化地理学を取り上げる。まずは、地理教育と地理教科書の歴史を学ぶ。続いて、歴史地理学・社会文化地理学の視点から、日本ならびに世界各地の事例を用いて、都市・宗教・ジェンダー・エスニシティなどの問題を考察する。

220104 自然地理学

【到達目標】

- ・自然環境および自然災害を地理学的に捉え理解する。
- ・地球環境変動および地震災害の原因と実態について理解する。
- ・地形図と空中写真を用いた地形判読をする知識と技術を身につける。

【概要】 自然環境および自然災害を地理学的に解析することを目標とする。地球環境変動および地震・地震災害の原因と実態について理解するために、地球温暖化、ヒートアイランド現象、エルニーニョ現象とラニーニャ現象、プレート境界型地震、活断層型地震などのテーマを取り上げる。地形図と空中写真を用いた地形判読の実習を行う。

220105 地誌学

【到達目標】

- ・地理を担当する教師として、多様な地域の地誌を教えるための基礎的な理論と方法を身につける。
- ・目的に応じて統計データを選択、加工する方法を取得する。
- ・変化する世界情勢に関心を持ち、既存の社会認識に対する新たな視点を獲得する。

【概要】 地理学・人類学・民俗学・経済学・歴史学などの学問分野と複層的に関連する地誌を学ぶ。なじみの薄いと思われる地域も積極的に取り上げ、多角的な視野から日本と世界の地誌を理解する力を身につける。講義では、地誌学を学ぶために統計データを取得する方法や、必要な資料をデータから抽出・作成する方法、地図の読み方なども習得する。

■ 基盤演習

220201 人文学基礎演習

【到達目標】

- ・自身の考えを明瞭に表現し、また、相手の説明・主張を正確に理解し応答する力量を養う。
- ・人文学領域の課題に関する文献や資料の情報を収集する手法を、習得する。
- ・参照した人文学関係の文献・資料を踏まえて、複眼的に考察する力を身につける。
- ・自身の考察を、筋道立てて構成・記述する力を身につける。

【概要】 各クラスにおいて、人文学の各専門領域に応じて設定された課題にグループ・ワークで取り組み、演習形式の授業のなかで、わかりやすい説明や提示（参照用プリントの作成など）の仕方、相手への意見の述べ方や討議の仕方を学び、人文学の知のあり方を理解する。人文学領域の文献・資料の内容に即して、他者の意見もふまえながら複眼的に考察し、根拠をもとに自らの意見を表現することを学ぶ。また、人文学の文献や資料に関する情報の収集法、レポート作成に際して求められる引用の作法などについても、実践的に習得する。

■ 卒業論文

220501 卒業論文

【到達目標】

- ・自分の設定した研究テーマにそって資料を収集・分析する力を養う。
- ・自分の設定した仮説を、論理的・批判的考察により実証する力を養う。...
- ・想定される読者に伝わる言葉で論文を書く力を養う。
- ・創造的な発見・付加を目指して粘り強く取り組み、完遂する姿勢を確立する。

【概要】 学生が自らの知的関心に沿って研究テーマを設定し、資料を収集・分析して仮説をたて、論理的・批判的考察を積み重ねることによって仮説を実証し、得られた結論を説得的に表現する、という一連の学問的営みを通じて、学士課程での集大成として論文を作成する。主に特殊演習においてそれらの論法を学ばせながら、各担当教員が個別に指導を行っていく。卒業論文提出後には、複数の教員から成る主査・副査体制を基本に口述試験を実施し、論文の審査を行う。

哲学専攻

■ 基盤講義

221001 哲学の基本問題

【到達目標】

- ・自分自身で物事を正確に考える力を身につける。
- ・哲学とはなにか、の基礎知識を身につける。

【概要】 哲学とはなにか、をゼロから学ぶ。哲学することのトレーニングの授業であり、常に、受講生との応答や議論のなかで講義は進められる。日常的で常識的なものの見方のあいまいさや不確かさを確認し、常識に囚われずクリアにものごとを深く考え抜く力を身につける。ここでは、哲学的テキストに触れる前に、自分自身でものをじっくり考える訓練に重きを置いて授業を進める。

221002 哲学の歴史的展開

【到達目標】

- ・哲学が歴史的にどのように展開してきたかを理解する。
- ・哲学の思想家たちのテキストを読む力を身につける。

【概要】 哲学とはなにか、を歴史的展開の視点から学ぶ。日常的で常識的なものの見方のあいまいさや不確かさを確認し、常識に囚われずクリアにものごとを深く考え抜く力を身につける。ここでは、先達の思想家たちのテキストに接しながら、哲学が歴史的にどう展開してきたかを考えていく。思想の古典的テキストを読む基礎的な力も身につける。

221003 哲学概論

【到達目標】

- ・哲学とはどのような学問であるか、その基本的な特徴を理解する。
- ・哲学が扱う主要な問題について、基本的な知識を習得する。
- ・これを通じて、哲学的に考えることの意味、面白さ、難しさを実感し、自分で根本的に考える習慣を身に付ける。

【概要】 哲学とはどのような学問かということについて、基本的な姿勢を学ぶことを目標とする。内容としては、人間と文化のかかわりを中心にして、人間が言語や知識を通じて周囲のものとのように関わりながら、世界を築いていくかを考える。そのために、古今のさまざまな哲学・思想を手がかりにし、また隣接するいろいろな学問も参考にして、多面的に検討する。ただし、学説の紹介よりは、問題の立て方とそれに対する自分自身の考え方を養うことに力点をおく。

221004 倫理学概論

【到達目標】

- ・倫理学の基本を具体的な問題を通して理解し、考えながら、自分なりの考え方を探る姿勢を身につける。
- ・具体的な問題への敏感な態度を養う。

【概要】 倫理学とはどのような学問かということについて、基本的な姿勢を学ぶことを目標とする。内容としては、社会生活を営む人間同士のかかわり方を中心に、「私」の存在、善と悪の判断、法や道徳が成立する根拠などを考え、価値観の多様化の中でこれからあるべき社会のルールについて模索する。そのために、古今のさまざまな思想を手がかりにして、多面的に検討する。ただし、学説の紹介よりは、問題の立て方とそれに対する自分自身の考え方を養うことに力点をおく。

221005 美学概論

【到達目標】

- ・美学の概観的知識を習得することによって、今後の美学の学習の基礎を獲得する。
- ・その上で、個別芸術と個々の美的現象ににどのように美的方法論・見方が適用されるかについての基本的理解を習得する。

【概要】 「感性的認識についての学」として「美学」は18世紀西洋で誕生した。その意味で「美学」を現代の流動的で多様な状況の中で更に活用させるためには、この独自の歴史・地理性をまず踏まえることが重要となる。その上で、芸術学という狭い枠組みに単純に収まらない「美学」の基礎的な概念と考え方について概観しその可能性を探る。また授業では、文学、美術、上演芸術などの個別芸術を美的問題群についてもできるかぎり紹介していく。

221006 キリスト教学概論

【到達目標】

- ・ヨーロッパ文化・哲学のふたつの源泉であるギリシアの伝統とユダヤ・キリスト教の伝統が会うことによって、いかなる事態が起こったのか、その具体的状況を理解する。
- ・その上で、ギリシア哲学、キリスト教双方の理解をより深める。
- ・キリスト教の提起する人間観により、現代世界が直面している深刻な危機を見抜く洞察力を培う。

【概要】 ヨーロッパ思想史の必須の素養としてのキリスト教思想を考察する。神の愛と隣人愛、信仰と希望、原罪と贖罪、三位一体論など、キリスト教思想の基本を解説し、ペテロ、パウロ以来のキリスト教会史の流れを概観する。天使とも動物とも異なる被造物としての人間の位置を明らかにすることは、「人間とは何か」という哲学的考察にも関連するものであり、その理解を目指す。また、キリスト教の提起する人間観は、現代世界が直面している深刻な危機を見抜く洞察力を培うと考え、視野を広げて考察する。

221007 古代ギリシア哲学史

【到達目標】

- ・単なる年代の羅列とは異なる「哲学史」の具体的なイメージを理解する。
- ・翻訳を通じて、いくつか古代の重要な思想家の文章にふれ、その本質を理解する。
- ・科学、宗教、文学を横断する古代の様々な思考の型を理解する。

【概要】 紀元前6世紀以来の、哲学の端緒をめぐる、ソクラテス以前の思想家の多彩な思索の跡を辿ることから始まり、紀元前5～4世紀のアテナイで活躍したプラトン、アリストテレスを中心に、西洋哲学史の礎石を据えた哲学的思考の原型を取り出す。科学、神話、文学、宗教などと対比しながら、自然と人間をめぐる雄大で豊饒な古代世界の遺産を堪能したい。現代哲学の諸問題と交錯する最新の研究状況の一端も併せて紹介する。単なる年代の羅列とは異なる「哲学史」の具体的なイメージをつかむ。

221008 中世ヨーロッパ哲学史

【到達目標】

- ・単なる年代の羅列とは異なる「哲学史」の具体的なイメージを理解する。
- ・翻訳を通じて、いくつか中世の重要な思想家の文章にふれ、その本質を理解する。
- ・科学、宗教、文学を横断する中世の様々な思考の型を理解する。

【概要】 古代哲学を継承し、キリスト教と深く結びつきながら、カロリング・ルネサンスを経たヨーロッパ世界の形成期に展開した中世哲学の多様性を学ぶ。また、イスラーム世界を経由したアリストテレス主義の導入や、普遍論争の中で培われたスコラ哲学の意義と重要性を、近世・近代哲学の源流という観点も含めながら考察する。

221009 西洋近代哲学史

【到達目標】

- ・西洋哲学史を学ぶのに必要な基礎的素養を身につける。
- ・近代哲学史とくにその成立事情を、その本質を見極めて理解する。
- ・哲学的な根本問題をじっくり自分で考える態度を身につける。

【概要】 十七世紀に本格的に始動する近代哲学の源流を中世後期に求め、その歴史的展開を当時の社会情勢などにも目を配りながら考察し、さらに十八世紀において一つの頂点に達するその全容を理解することを目指す。そして、近代がどのような意味で現代の我々自身の思考を規定しているかということを議論しながら、哲学史を学ぶことの意味について考える。

221010 西洋現代哲学史

【到達目標】

- ・西洋哲学史を学ぶのに必要な基礎的素養をいっそう身につける。

- ・現代哲学の成立事情を、その本質を見極めて理解する。
- ・現代哲学の基礎概念をその発生現場において押さえ、その意義について理解する。

【概要】 十八世紀に一つの頂点に達した近代哲学のどのような点が批判され、現代哲学が誕生したのかということ、十九世紀、二十世紀、そして現在の様々な哲学者たちの思考を丹念に分析することを通じて理解する。そして、現代哲学が、現在を生きる我々にとって持つ意義を理解することを目指す。

221011 東洋思想史

【到達目標】

- ・東洋を代表する思想家の考えを通して、東洋思想の大きな流れを理解する。
- ・伝統と近代の関係についての多様なあり方を学び、理解する。
- ・諸言説を比較対照し、批判的に考察する力を身につける。

【概要】 東洋を代表する思想家たちの思考を丹念に分析することを通して、東洋思想の大きな流れを理解し、それが近代・現代とどのような関係をもっているのかを学び、理解することを目指す。その過程において各諸派の言説を比較対照し、批判的に考察する力を身につける。

221012 美学史

【到達目標】

- ・代表的な美学的思索の古代から現代への大きな流れを理解する。
- ・これらの美学的思索がそれぞれおかれていた時代と社会の状況との深い関りを理解する。
- ・近代西洋美学を立体的・相対的に俯瞰する視点を培う。

【概要】 西洋で「感性的認識についての学」として成立した18世紀西洋「美学」を中心的な軸としつつも、古代から現代に至る「美的なもの」を巡る思索の大きな流れを、その思索と不可分な同時代の社会・宗教・政治状況そして美的・芸術現象に具体的に触れつつ概観する。

221013 キリスト教史

【到達目標】

- ・ユダヤ・キリスト教の誕生から、それが古代ギリシア世界の哲学およびイスラム世界との接触により、どのように変容していったのかを理解する。
- ・キリスト教の歴史的展開と変容を学ぶことを通じて、それらの問題の現代性を理解する。

【概要】 イエス・キリストの死と復活を説き、普遍宗教への道を開いた使徒パウロ。古代ギリシア哲学を摂取し、教義の確定に与った教父アウグスティヌス。アリストテレス哲学を用いて神学を集大成した、スコラ哲学の高峰トマス・アクィナス。原点としての聖書に立ち返り、カトリック教会支配からの脱皮を図った改革者ルターなどを核に、キリスト教思想史を辿り、それがいかにヨーロッパ精神の源泉となっているかを明らかにする。

■ 特殊講義

221101 現代哲学の課題と方法

【到達目標】

- ・現代哲学の基本的特徴を理解する。
- ・現代哲学の諸相を、古典的哲学との対比のうえでしっかり理解する。

【概要】 現代哲学は、二十世紀の分析哲学、現象学、実存主義や構造主義などを基本としながら、科学哲学、心の哲学、AI の哲学、現象学的解釈学、ポスト構造主義、ポストモダニズム、カルチュラル・スタディーズ、ポストコロニアリズムなど多様な形をとって発展してきている。これら全体像を概観し基本的特徴を学ぶとともに、伝統的な哲学との思想のあり方の差異について学ぶ。

221102 現代科学とテクノロジーの哲学

【到達目標】

- ・現代科学・テクノロジーと近代哲学との深い関係を理解する。
- ・新たなテクノロジーの出現によって、時代がどのように変化したのかを哲学的視点から理解する。

【概要】 デジタルテクノロジーの出現や医療技術の飛躍的進展によって、時代は大きく変化した。哲学や思想はこのような変化とどのような関わりを持っているのだろうか。哲学の古典的テキストを読み解くことによって、現代という時代特有の問題にどのような光をあてることができるかを示し、問題をそれぞれが自分自身で考えられることを目指す。

221103 応用倫理学の展望

【到達目標】

- ・倫理学の基本をもとに応用倫理学の課題を具体的な場面に即した形で理解する。
- ・応用倫理学のいくつかの場面の中でどのような原理、歴史的背景が関るかということについての理論的思考法を身につける。
- ・具体的な場面での関り方について議論する力を養う。

【概要】 1970年代以降に展開された応用倫理学について、なぜこの分野がこの時代に登場してきたのか、原理的な倫理学とどのような関係にあるのか、「応用」とされることの意味など、応用倫理学の基本的な理解を深めた上で、応用倫理学の各分野、例えば、環境倫理学、科学技術倫理学、情報倫理学などについて、その個別分野における特徴と多分野との関連について考察する。あわせて、今後の日本を含む国際社会の中で、応用倫理学が果たす役割の可能性を探る。なお、応用倫理学の中の重要な分野である生命倫理学については、別の科目において主題的に扱う。

221104 女性と生命倫理

【到達目標】

- ・生命倫理学の諸問題を取りわけ女性という視点から考えるための基礎知識を身につける。
- ・生命倫理の問題を、医学、法律、倫理のそれぞれの視点から考える力を養う。
- ・女性のライフサイクルを築く議論の仕方に習熟し、自ら考えていくような姿勢を培う。

【概要】 生命倫理学の諸問題を、女性という視点から考える。その場合にとりわけ重要になるのが生殖に関する問題である。具体的な問題としては、不妊治療、人工授精、体外受精、代理出産、出生前診断、選択中絶などについてであり、これらについて、基本的な理解を踏まえつつ、その実態を明らかにした上で、外国との比較を交えながら、法的、社会的問題の所在を示す。さらに、今後の生命倫理のあり方について考えるために、デザイナーズベイビーの問題などを検討する。

221105 西洋の美学

【到達目標】

- ・西洋美学を学ぶのに必要な基礎的素養をいっそう身につける。
- ・現代の美学のその西洋的起源についての理解する。
- ・具体的な美的芸術現象に即した美学的知識を身につける。

【概要】 芸術および美的なものを巡る思想の現在と未来を正確に見定めることも視野に入れつつ、その思想の直接の起源でもある 18 世紀西欧美学について、当時の絵画・音楽・文学等の芸術作品にも具体的に触れながら、理解を深める。

221106 日本と東洋の美学

【到達目標】

- ・日本と東洋の美学についての基礎的な素養をいっそう身につける。
- ・19 世紀以後の西洋近代化の日本と東洋の美学への影響および「東洋」という枠組みの人為性の美学的問題について理解する。
- ・日本と東洋の具体的な美的芸術現象についての美学的理解を深める。

【概要】 西洋美学・哲学の影響下に始まる近代以後の日本の美学思想のその独自の位相かつまた「非西洋」としての「東洋」という概念の問題性にも注意を払いつつ、日本と中国を中心とする非西洋世界の美学について、これと関る美的・芸術現象にも具体的に触れつつ、理解を深める。

221107 芸術と社会

【到達目標】

- ・芸術の社会との必然的な繋がりについての基礎的な理解を得る。
- ・芸術現象の「脱規範的」本質と社会の「規範性」との複雑な関係についての柔軟な視点をえる。
- ・芸術現象が社会のうちで演ずべき独自の役割を具体的な事例を通して理解する。

【概要】 芸術現象が例外的個性と不可分である以上に、表現手段それ自体の共同性や共同制作もしくは（非常にしばしば伝統文化的な）共同体といった社会性に深く根ざすことを基本的な前提として理解する。その上で、芸術が社会のうちで独自に演ずる歴史的意義と可能性について、具体的な事例に触れつつ、思索を展開するための知識と方法を修得する。

221108 キリスト教の思想・文化

【到達目標】

- ・キリスト教、ユダヤ教、イスラム教の伝統的な聖典理解や解釈学的アプローチを比較しながら、それぞれの共通点と相違点を理解する。
- ・キリスト教が文化や社会に与えた影響を、具体的な事象を元に理解する。

【概要】 キリスト教の思想と文化がどのような本質を有し、そして歴史の流れの中でどのように変容していったのかを学びながら、現代社会の死生観、性、ジェンダー、経済、社会倫理、環境問題といった現代的な課題について、聖書あるいはキリスト教はどのような視点・視座を提供できるかを考察する。

221109 日本思想史

【到達目標】

- ・日本思想の独自性を具体的なテキストや言葉に触れながら理解する。
- ・仏教や神道が日本の社会、文化に与えた影響を理解する・明治以降に流入した西洋文明が日本の伝統的な思考に与えた影響を探り、それが現在の我々自身の思考をどのように規定しているかを理解する。

【概要】 日本思想の問題を深く理解するためには、歴史的な由来の知識が必須である。この講義においては狭義の哲学だけではなく、広く芸術論、倫理学、宗教などの思想文化の歴史における重要な主題を選び、それについて学ぶことによって、学生の多面的な関心に答えるとともに、視野を拡大することを目的とする。また同時に、学生の知識に歴史的深みを与え、歴史的研究の方法に習熟することを図る。

■ 基盤演習

221201 哲学2年次演習Ⅰ

【到達目標】

- ・ 哲学書を読むうえで必要な構えを身につける。
- ・ 哲学的著作にふれ、哲学的に考えることに習熟する。
- ・ 疑問点や重要点をみなで議論する仕方をいっそう学ぶ。
- ・ 他の人の前で発表し、質疑応答をリードする。

【概要】 我々に身近な主題（「食」「感性」「知覚」）を巡る思索が展開される哲学的テキストを最後まで読通しながら、その思索が孕むより深い哲学的文化的諸問題（「意味」「知性」「神」「因果性」「美的なもの」など）との連関についての関心を培う。授業ではレジュメ作成・質問担当者を決め、授業参加者同士でディスカッションを行う。

221202 哲学2年次演習Ⅱ

【到達目標】

- ・ 英文テキストを正確に理解する。
- ・ 英語で自分の考えをまとめ、論理的に表現する技法を習得する。
- ・ 他の参加者たちと英語で討論する技法を身につける。
- ・ 英語で考え、討論することを通じ、日常的に用いている日本語の論理的構造に敏感になる姿勢を獲得する。

【概要】 英語で書かれた論理学およびクリティカル・シンキングのテキストを題材として、英語での討論を行い、自身の考えを明確に英語で表現することを目指す。その過程の中で、論理的思考力や表現力、主体的な参加の姿勢などの能力をよりいっそう身につける。

221203 キリスト教学演習A

【到達目標】

- ・ 教父時代から中世半ばまでのキリスト教の中心的な教義をめぐる議論の概要を理解する。
- ・ 具体的な個別テキストを、方法論的にコントロールされた仕方で解釈する作法を身につける。
- ・ 古典的なテキストが指し示しているものを、現代的な視点から問い直す姿勢を養う。

【概要】 教父時代から中世半ばまでのキリスト教の広大な伝統の中から、古典的文献を選び、そのテキストを精読することを通じて、キリスト教思想の精髓を深く理解する。そのためには、テキストの背景となる、著者の時代と生涯についても学ぶ必要があり、また近年の国内外の研究にも目を向けたい。邦訳を参照するが、可能な範囲で原典を大事にしたい。担当者は、事前にレジュメを用意したうえで独自の解釈を提示することが求められる。その後、参加者全員で討議を行なう。

221204 キリスト教学演習B

【到達目標】

- ・中世後半から近世・近代にかけてのキリスト教の中心的な教義をめぐる議論の概要を理解する。
- ・具体的な個別テキストを、方法論的にコントロールされた仕方で解釈する作法を身につける。
- ・古典的なテキストが指し示しているものを、現代的な視点から問い直す姿勢を養う。

【概要】 中世後半から近世・近代にかけてのキリスト教の広大な伝統の中から、古典的文献を選び、そのテキストを精読することを通じて、キリスト教思想の精髓を深く理解する。そのためには、テキストの背景となる、著者の時代と生涯についても学ぶ必要がある。近年の国内外の研究にも目を向けたい。邦訳を参照するが、可能な範囲で原典を大事にしたい。担当者は、事前にレジюмеを用意したうえで独自の解釈を提示することが求められる。その後、参加者全員で討議を行なう。

■発展演習

221301 西洋古代・中世哲学演習A I

【到達目標】

- ・ギリシア哲学・倫理学の基本概念を習得する。
- ・受講者同士の討論を通じて、各自の思考力を養っていく。
- ・発表とレポートを通じて、正確で明快な言語表現する力を身につける。
- ・古典古代の名著を読むことを通じて、それを自らの思考の糧として身につける。

【概要】 西洋古典語（ギリシア語）で書かれた哲学文献を扱う、3年次以降対象の原書講読の中級ゼミ。プラトンやアリストテレスなど、初期から古代ギリシア哲学盛期までの代表的著作をテキストに選び、哲学・倫理学の基本問題を多面的に考える。ギリシア語テキストと日本語訳のほか、英文の注釈書や研究論文を交えて検討する。古代哲学を研究するうえでの方法論の基本も押さえる。哲学的討議の仕方も、実地で学んでゆく。

221302 西洋古代・中世哲学演習A II

【到達目標】

- ・ギリシア哲学・倫理学の基本概念をよりいっそう自分のものとするべく習得する。
- ・受講者同士の討論を通じて、各自の思考力をさらに養っていく。
- ・発表とレポートを通じて、正確で明快な言語表現する力をいっそう身につける。
- ・古典古代の名著を読むことを通じて、それを自らの思考の糧として身につけ、それを表現する力を養う。

【概要】 前期の同演習で培った力をさらに伸ばすことを目指す。プラトンやアリストテレスなど、初期から古代ギリシア哲学盛期までの代表的著作をテキストに選び、哲学・倫理学

の基本問題を多面的に考える。ギリシア語テキストと日本語訳のほか、英文の注釈書や研究論文を交えて検討する。古代哲学を研究するうえでの方法論の基本も押さえる。哲学的討議の仕方も、実地で学んでゆく。

221303 西洋古代・中世哲学演習B I

【到達目標】

- ・ギリシア哲学・倫理学とヨーロッパ中世哲学（スコラ哲学並びにキリスト教神学）の基本概念を習得する。
- ・受講者同士の討論を通じて、各自の思考力を養っていく。
- ・発表とレポートを通じて、正確で明快な言語表現する力を身につける。
- ・古典古代の名著を読むことを通じて、それを自らの思考の糧として身につける。

【概要】 西洋古典語（ギリシア語、ラテン語）で書かれた哲学文献を扱う、3年次以降対象の原書講読の中級ゼミ。ヘレニズム期から中世にかけての、古代・中世哲学の代表的著作をテキストに選び、哲学・倫理学の基本問題を多面的に考える。ギリシア語・ラテン語テキストと日本語訳のほか、英文の注釈書や研究論文を交えて検討する。古代・中世哲学を研究するうえでの方法論の基本も押さえる。哲学的討議の仕方も、実地で学んでゆく。

221304 西洋古代・中世哲学演習B II

【到達目標】

- ・ギリシア哲学・倫理学とヨーロッパ中世哲学（スコラ哲学並びにキリスト教神学）の基本概念をよりいっそう自分のものとするべく習得する。
- ・受講者同士の討論を通じて、各自の思考力をさらに養っていく。
- ・発表とレポートを通じて、正確で明快な言語表現する力をいっそう身につける。
- ・古典古代の名著を読むことを通じて、それを自らの思考の糧として身につけ、それを表現する力を養う。

【概要】 前期の同演習で培った力をさらに伸ばすことを目指す。ヘレニズム期から中世にかけての、古代・中世哲学の代表的著作をテキストに選び、哲学・倫理学の基本問題を多面的に考える。ギリシア語・ラテン語テキストと日本語訳のほか、英文の注釈書や研究論文を交えて検討する。古代・中世哲学を研究するうえでの方法論の基本も押さえる。哲学的討議の仕方も、実地で学んでゆく。

221305 西洋近代哲学演習A I

【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に前期）の古典にふれ、近代哲学の根本的な考え方を身につける。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術を身につける。

【概要】 西洋近世・近代哲学の古典であるデカルト、ロック、ライプニッツ、カントなど

の著作を講読する。難解なテキストを読み解く訓練を通じて、読解力や洞察力を深めることも目的とする。適宜、日本語訳も使用し、また種々の研究書も参考にする。二、三回のイントロダクションの後、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジュメを作りながら進行する。

221306 西洋近代哲学演習 A II

【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に前期）の基本的な考え方を身につけた上でそこに通底する発想の根幹を把握する。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読む技術を身につけた上で、原典そのものを自ら読み解く能力をつける。

【概要】 前期の同演習で培った能力をさらに伸ばすことをめざす。デカルト、ロック、ライプニッツ、カントなどの著作に通底している基本的発想を把握することを目的とし、読解力や洞察力をさらに深めることを目的とする。

進行は前期と同様、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジュメを作りながら進行する。

221307 西洋近代哲学演習 B I

【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に後期）の基本的な考え方を身につけた上でそこに通底する発想の根幹を把握する。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読む技術を身につけた上で、原典そのものを自ら読み解く能力をつける。

【概要】 西洋近世・近代哲学の古典であるカント、ヘーゲル、パース、ベルクソンなどの著作を講読する。難解なテキストを読み解く訓練を通じて、読解力や洞察力を深めることも目的とする。適宜、日本語訳も使用し、また種々の研究書も参考にする。二、三回のイントロダクションの後、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジュメを作りながら進行する。

221308 西洋近代哲学演習 B II

【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に後期）の基本的な考え方を身につけた上でそこに通底する発想の根幹を把握する。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読む技術を身につけた上で、原典そのものを自ら読み解く能力をつける。

【概要】 前期の同演習で培った能力をさらに伸ばすことをめざす。カント、ヘーゲル、パ

ース、ベルクソンなどの著作に通底している基本的発想を把握することを目的とし、読解力や洞察力をさらに深めることを目的とする。進行は前期と同様、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジユメを作りながら進行する。

221309 現代哲学演習 A I

【到達目標】

- ・十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術を身につける。
- ・現代哲学の古典的著作にふれ、十九世紀後半から二十世紀前半にかけての思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力を養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方を身につける。

【概要】 「ヨーロッパの哲学」が西洋という枠組みを離れ、全世界的に展開し始める十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力を培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指す。

221310 現代哲学演習 A II

【到達目標】

- ・十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術をよりいっそう身につける。
- ・現代哲学の古典的著作にふれ、十九世紀後半から二十世紀前半にかけての思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力をより深く養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方をより深く身につける。

【概要】 前期の本演習での議論を踏まえ、十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力をより深く培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指し、現代哲学の豊穡さと可能性を理解する。

221311 現代哲学演習 B I

【到達目標】

- ・二十世紀後半から二十一世紀初頭、すなわち現在における現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術を身につける。

- ・現代哲学の古典的著作にふれ、二十世紀後半から二十一世紀初頭における思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力を養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方を身につける。

【概要】 世界中で展開されている現代哲学の基本的文献を読み解きながら、その現代性を理解することを目指す。二十世紀後半から二十一世紀初頭、すなわち現在における古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力を培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指す。

221312 現代哲学演習 B II

【到達目標】

- ・二十世紀後半から二十一世紀初頭における現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術をよりいっそう身につける。
- ・現代哲学の古典的著作にふれ、二十世紀後半から二十一世紀初頭における思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力をより深く養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方をより深く身につける。

【概要】 前期の本演習での議論を踏まえ、二十世紀後半から二十一世紀初頭における現代哲学の基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力をより深く培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指し、現代哲学の豊穡さと可能性を理解する。

221313 倫理学演習 A I

【到達目標】

- ・倫理学に関する西洋のテキストを正確に読むことができる力を身につける。
- ・時代背景を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢を習得する。

【概要】 倫理学を深く学ぶとともに、問題を自ら考える力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、西洋近代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

221314 倫理学演習 A II

【到達目標】

- ・前期で身につけたテキストの読解技術にさらに磨きをかけ、より深くテキストを読み込むことができる力を身につける。
- ・時代背景や関連する諸学問を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢をよりいっそう習得し、自分自身の問いを立て、答を見つける態度を養う。

【概要】 「倫理学演習 A I」に引き続き、倫理学を深く学ぶとともに、問題を自ら考える力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、西洋近代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

221315 倫理学演習 B I

【到達目標】

- ・倫理学に関する現代のテキストを正確に読むことができる力を身につける。
- ・時代背景を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢を習得する。

【概要】 倫理学を深く学ぶとともに、問題を自ら考える力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、日本、東洋、西洋を問わず、現代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

221316 倫理学演習 B II

【到達目標】

- ・前期で身につけたテキストの読解技術にさらに磨きをかけ、より深くテキストを読み込むことができるようになる。
- ・時代背景や関連する諸学問を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢をよりいっそう習得し、自分自身の問いを立て、答を見つける態度を養う。

【概要】 「倫理学演習 B I」に引き続き、倫理学を深く学ぶとともに、問題を自ら考える

力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、日本、東洋、西洋を問わず、現代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

221317 東洋・日本思想史演習 A I

【到達目標】

- ・ 東洋思想史における古典的文献を精読し、その意義を理解する。
- ・ 東洋の思想の基本的な概念を理解する。
- ・ 東洋の思想と西洋思想との共通性や相違点について理解を深める。

【概要】 東洋の思想史における基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題をみなで議論することを通じて、問題と課題を自分自身で考えていく力を培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指す。

221318 東洋・日本思想史演習 A II

【到達目標】

- ・ 前期で身につけたテキストの読解技術にさらに磨きをかけ、より深くテキストを読み込むことができるようになる。
- ・ 東洋の思想の基本的な概念をさらに深く理解する。
- ・ 東洋の思想と西洋思想との共通性や相違点について理解をさらに深める。

【概要】 前期の本演習での議論を踏まえ、東洋の思想史における基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題をみなで議論することを通じて、問題と課題を自分自身で考えていく力をさらに伸ばしていくことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指し、東洋の思想の豊かさをより深く理解することを目指す。

221319 東洋・日本思想史演習 B I

【到達目標】

- ・ 日本思想史における古典的文献を精読し、その意義を理解する。
- ・ 日本の思想の基本的な概念を理解する。
- ・ 日本の思想と西洋思想との共通性や相違点について理解を深める。

【概要】 日本思想史における基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題をみなで議論することを通じて、問題と課題を自分自身で考えていく力を培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指す。

221320 東洋・日本思想史演習BⅡ

【到達目標】

- ・前期で身につけたテキストの読解技術にさらに磨きをかけ、より深くテキストを読み込むことができるようになる。
- ・日本の思想の基本的な概念をさらに深く理解する。
- ・日本の思想と西洋思想との共通性や相違点について理解をさらに深める。

【概要】 前期の本演習での議論を踏まえ、日本思想史における基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題をみなで議論することを通じて、問題と課題を自分自身で考えていく力をさらに伸ばしていくことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指し、日本思想の豊かさをより深く理解することを目指す。

221321 美学演習AⅠ

【到達目標】

- ・美学の過去の代表的諸議論についての見通しをまず獲得する。
- ・美学的議論の前提となる東西の芸術作品や美的現象の鑑賞法について具体的に理解する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

【概要】 美学が感性の学であることに着目したのは18世紀西洋であった。しかし、「感性」とは我々の現実の「生」（五官の働き、食、存在不安など）に深く根ざすものでもあり同時に、いわゆる「芸術」現象においてもある種の重要な役割を与えられた。この演習では、まずは古代の古典的テキスト（アリストテレスやホラティウス等）の幾つかに具体的に触れつつ、古代から現代に至る美学上の重要な思想家の美学・芸術論そして前提になる実際の芸術作品の幾つかについてレジュメ作成と発表を行う。精読及び発表と討議を行うことで、美的なものや芸術についてのまずは基礎的な理解を獲得する。

221322 美学演習AⅡ

【到達目標】

- ・近代美学確立期である18世紀以降の代表的な美学・芸術論そしてそれ以後の現代の美学・

芸術論を精読することで、美学という学問の歴史性について理解を深める。

- ・(特に近現代の) 芸術作品や美的現象の鑑賞法について理解する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

【概要】 感性から芸術を繋ぐものとしての近代美学の位置付けを見定めるためのテキスト(ディドロ、カント、バークなど)を精読するとともに前提となる芸術作品(近代から現代)の具体例についても触れていく。特に精読は18世紀から現代の美学上の原典を邦訳を中心に進める。この精読と個々の芸術作品の検討同時に、参加者の美的現象・芸術現象を巡る自由発表と討議を行い、美的なものや芸術についての理解を深める。

221323 美学演習B I

【到達目標】

- ・美学の過去の代表的諸議論についての見通しをまず獲得する。
- ・美学的議論の前提となる芸術作品や美的現象の鑑賞法について具体的に理解する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

【概要】 美学とは、「感性」の学であると同時に「芸術」現象にまつわる学でもある。とは言え、「芸術」における「感性」の役割は必ずしも歴史的(例えば古代と現代)・地理的(例えば西洋と日本)に一定のものであったのではない。特に現代において、従来の西洋近代にモデルを持つ芸術と感性の理想的関係は大きく変容した。この演習では、まずは古代から近世の古典的理論(プラトンやデカルト等)そして具体的作品(ホメロス、ラシーヌらの文学・演劇作品やオペラそして美術造形作品等)の幾つかに具体的に触れ、そこで示されていた従来の西洋的な芸術と感性の関りを、作者、鑑賞者そして作品の位相でそれぞれ確認して行く。授業では以上についての学生によるレジュメ作成と発表が中心となる。精読及び発表と討議を行うことで、美的なものや芸術についてのまずは基礎的な理解を獲得する。

221324 美学演習B II

【到達目標】

- ・近代美学確立期である18世紀以降の代表的な芸術論そしてそれ以後の現代の芸術論を精読することで、美学という学問の歴史性について理解を深める。
- ・(特に近現代の) 芸術作品や美的現象の鑑賞法について理解する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

【概要】 現代における西洋的な従来の芸術と感性の理想的関係の変容を多層的に理解するために、近現代の西洋と日本のテキスト(ルソー、ヘルダーからハイデガー、九鬼周造や佐々木健一等)そして芸術作品(ルソーやプルーヴラの近代文学、ロココやロマン派から印象

派そして現代アート、18世紀バロックから後の現代音楽等)を具体的に読解・分析する。特に現代において「芸術・アート」が大きく変貌することに連動する形で、これに関する「感性」がどのような新たな局面に立ち至ったかについて具体的な展望をもってもらいたい。前期と同じく、理論的テキストと美的・芸術現象についての学生によるレジュメ作成と発表が中心となる。精読及び発表と討議を行うことで、近現代における美的なものや芸術についての基礎的な理解を獲得する。

221325 文理融合演習 A

【到達目標】

- ・人文学、哲学、社会科学と数学の融合領域の文献を精確に読解する力を身につける。
- ・自分の専門領域とは異なる方法論がどのようなものであるかを理解し、それによって自身の専門領域の方法論を相対化した上で、自身の方法論の意義をより深く理解する。
- ・共通の問題を異なる学問領域からの視点で考察することを通じて、その問題の多様性を理解する。
- ・異なる学問領域を学ぶ他の参加者に、自身の専門領域での議論の仕方とその成果を明確かつ論理的に説明する能力を養う。
- ・異なる学問領域での方法論や成果を自分の専門領域で活かす力を身につける。

【概要】 人文学、哲学、社会科学と数学という異なる学問の融合領域での文献を読み、異なる専門の学生同士での討論を通じ、そこで論じられている問題の多角的かつ重層的な理解を目指す演習である。具体的には、「数学史」、「数学の哲学」(確率論や、近代数学と近代哲学との関係など)、「意思決定の哲学」(ゲーム理論を考察するもので、哲学、数学専攻、情報理学専攻の学生の他、経済学、社会学専攻の学生も参加可能)などを論じた文献を読み、異なる学問領域の方法論を学びながら、自身の専門領域での議論にそれを活かすことを試みる。その過程で、異なる専門の学生に、自身の専門領域での方法論や成果を明確に説明する能力を身につけると同時に、自身の方法論のより深い理解につなげることを目指す。

221326 文理融合演習 B

【到達目標】

- ・人文学、哲学、社会科学と自然科学、特に物理学、生物学の融合領域の文献を精確に読解する力を身につける。
- ・自分の専門領域とは異なる方法論がどのようなものであるかを理解し、それによって自身の専門領域の方法論を相対化した上で、自身の方法論の意義をより深く理解する。
- ・共通の問題を異なる学問領域からの視点で考察することを通じて、その問題の多様性を理解する。
- ・異なる学問領域を学ぶ他の参加者に、自身の専門領域での議論の仕方とその成果を明確かつ論理的に説明する能力を養う。

- ・異なる学問領域での方法論や成果を自分の専門領域で活かす力を身につける。

【概要】 人文学、哲学、社会科学と自然科学、特に物理学と生物学という異なる学問の融合領域での文献を読み、異なる専門の学生同士での討論を通じ、そこで論じられている問題の多角的かつ重層的な理解を目指す演習である。具体的には、「科学史」、「物理学の哲学」（相対性理論や量子論、多宇宙理論についての哲学的考察）、「生物学の哲学」（進化論などについての哲学的ならびに社会学的考察）などを論じた文献を読み、異なる学問領域の方法論を学びながら、自身の専門領域での議論にそれを活かすことを試みる。その過程で、異なる専門の学生に、自分の専門領域での方法論や成果を明確に説明する能力を身につけると同時に、自身の方法論のより深い理解につなげることを目指す。

■特殊演習

221401 人文学特殊演習（哲学）Ⅰ

【到達目標】

- ・自分固有のテーマを選び、適切な論文題目をつけた上で、そのテーマをさらに掘り下げていく姿勢を身につける。
- ・テーマにふさわしい文献を探し、読み解いていく姿勢と力を身につける。
- ・哲学的な研究論文を作成する技術を習得する。
- ・スケジュールに応じて課題を設定し、着実に卒業論文の作成へと結実させる。

【概要】 4年間の学習の成果の結実が卒業論文となる。そこで、卒業論文の作成を前提に、各自の問題意識に応じた問題をいかに選び、思考をどのように進め、論の展開をいかに展開するかを実地に指導するとともに、随時、各自の研究結果を報告し、相互に批判検討しながら作業を進めて行く。また、たんに内容的な事柄ばかりではなく、論文の書き方、資料の調査方法とその取り扱い方など研究を進める上での基礎的な手続きに学生が習熟することを目指す。

221402 人文学特殊演習（哲学）Ⅱ

【到達目標】

- ・テーマにふさわしい文献を探し、読み解いていく力をよりいっそう養う。
- ・哲学的な研究論文を作成する技術を習得する。
- ・スケジュールに応じて課題を設定し、着実にこなし、論文作成を行う。
- ・中間段階での論文内容を他の人の前で発表し、質疑応答を行なう。

【概要】 前期に引き続き、各自の問題意識に応じた問題をいかに選び、思考をどのように進め、論の展開をいかに展開するかを実地に指導するとともに、随時、各自の研究結果を報告し、相互に批判検討しながら作業を進めて行く。個別指導を折り込みながら、最終的な完成を目指す。

日本文学専攻

■ 基盤講義

222001 日本語学入門

【到達目標】

- ・日本語学に関する基本的な知見を身につける。
- ・日本語の史的変遷の実態を知り、言語を変化させた要因を理解する。
- ・言語事象を観察して、ことばの特徴を見出す力を身につける。

【概要】 日本語学について、日本語史研究・現代語研究の両方の観点を理解することができるよう、基本的な考え方の習得をはかる。一つの分野を取り上げ、具体的な言語現象について、その史的展開を学びつつ、日本語が歴史的にどう変化し、又、それを変化させた要因は何かを学んで行く。また、言語事象について、自ら問題を発見し解決する態度を養う。高校までの学校教育における国語教育、非母語話者への日本語教育、コンピュータによる日本語処理等の応用分野も視野に入れつつ考察する。

222002 日本古典文学入門

【到達目標】

- ・日本古典文学のさまざまな作品、ジャンルを網羅的に取り上げ、その根底を流れる文学的特徴について理解する。
- ・日本古典文学を理解する上で絶対の前提となる、古典文法の重要性、宮中貴族社会の基本原則、歴史と文学の関係等について、基本的なことを理解する。

【概要】 日本古典文学のさまざまな分野について、基本的な学習をする。高等学校までで学習したことと、大学での専門的な文学研究との架橋となすべく、高等学校の授業で扱われることの多い作品を中心に取り上げ、それらを専門的な知見から再解釈する。それによって、古典文学を学ぶにあたって最低限必要となる知識、文法等の基本的な読解力を身につけさせるとともに、諸本間の異同の存在等、高校までには触れることのなかった専門的な研究の世界へと導くことを目指す。

222003 日本近現代文学入門

【到達目標】

- ・近現代文学についての基礎知識と読解力、基礎的方法論を身につける。
- ・近現代文学特有のテーマや表現を学びながら、その流れを大まかに理解する。
- ・自ら問いを立て自ら考えることで、近現代文学を批評的に読む力を養う。

【概要】 導入教育を含みつつ、近現代文学研究に不可欠な基礎知識と基礎的研究方法を学ぶ。具体的には、主要なテーマを一つ選定し、それを軸に時系列に作品を取り上げて精読し、

そのテーマの生成・変容・解消、複雑化などの歴史、及び内容と表現との関係などを考究する。必要に応じて、作品外の諸要因である「法制度や経済システム、共同体のありよう」などとの相関関係も明らかにしながら、作品を多角的に理解する。

222004 漢文学入門

【到達目標】

- ・漢文学のさまざまな分野の特徴について、基本的に理解する。
- ・訓読法を中心に、漢文の基礎知識を身につける。
- ・中国古典の分類法、辞典・関係資料等の利用法の基礎を理解する。

【概要】 漢文学のさまざまな分野について、基礎的な学習をする。まず漢文訓読法の知識を復習しながら、平易な文章を読解する。その上で、中国古典文学・思想・歴史の各分野の代表的な文献を読み、中国古典の発想や論理・美意識について理解する。文学・思想・言語・文化に関わる基本的な中国古典の中から分かりやすい部分を選び、独特な発想・論理展開・修辞法等に触れ、多読することを基本としながら、辞書・注釈・索引・関係資料の調査をふまえての精読をまじえ、中国古典を読解する力を養う。

222005 日本語学概論Ⅰ

【到達目標】

- ・現代日本語について、主に、音声・音韻、文字・表記、語彙、文法上の基本的な性質を知る。
- ・日本語学という分野について、主に、音声・音韻論、文字・表記論、語彙論、文法論という分野の基本的な考え方を身につける。

【概要】 我々が日常用いている言語である日本語を、様々な角度から考究する。日本語学という学問分野を紹介するという側面と、日本語についての最低限の知識を習得してもらうという側面の、(だいたい方向性の異なる)二つの側面を有する。日本語学を専門的に学んでいく者にとっては、基盤となる知識の習得を目指し、他の分野を専門的に学んでいく者にとっては、日本語についてより深く考えるきっかけをつくる。本講義では、現代語を中心に、音声・音韻論、文字・表記論、語彙論、文法論について講ずる。

222006 日本語学概論Ⅱ

【到達目標】

- ・現代日本語について、主に、文法、意味、運用(敬語・方言等)上の基本的な性質を知る。
- ・日本語学という分野について、主に、文法論、意味論、運用論、及び応用分野の基本的な考え方を身につける。

【概要】 我々が日常用いている言語である日本語を、様々な角度から考究する。日本語学

という学問分野を紹介するという側面と、日本語についての最低限の知識を習得してもらうという側面の、(だいぶ方向性の異なる)二つの側面を有する。日本語学を専門的に学んでいく者にとっては、基盤となる知識の習得の場となり、他の分野を専門的に学んでいく者にとっては、日本語についてより深く考えるきっかけとなるであろう。本講義では、現代語を中心に、文法論、意味論、運用論及び応用分野について講ずる。

222007 日本語史概論 I

【到達目標】

- ・日本語史の基本的な知識を身につける。
- ・各時代の言語の特徴を理解する。
- ・古代語・中世語の変化の様相を理解する。

【概要】 時の流れと共に様々に変化して来た日本語の各時代の実態を明らかにするのが日本語史研究である。言語はどのように変化するのか、どうして変化するのかを、各時代の代表的な文学作品等の文献を分析しながら探っていく。日本語は従来、古代語と近代語とに二大区分がされるが、それに過渡期中世語の様相も興味あるものである。言語変化が文字・音韻・文法・待遇表現・語彙・文章表現の各部門でどのように表れるかを記述し講述する。

222008 日本語史概論 II

【到達目標】

- ・日本語史の基本的な知識を身につける。
- ・各時代の言語の特徴を理解する。
- ・中世語・近世語の変化の様相を理解する。
- ・言語変化の要因を理解する。

【概要】 日本語の歴史の流れは、時代別、そして各分野別の通史だけでは捉えきれない。言語の史的な展開の実態を捉えて、そこに働く変化の要因を解明して初めて、言語の歴史の記述になる。また地域・性別・年齢・職業・階層などの位相語の歴史も注目される。日本語史研究に主に取り上げられてきた文学作品のみならず、関連する分野の日本史や宗教史の史料や遺文なども積極的に扱って多様な言語変化の様相を講述する。

222009 日本文学概論(古典) A I

【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として古代(奈良～十一世紀)の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。
- ・この時代の文学が後世にいかなる影響を与えたかについて理解する。

【概要】 日本古典文学のうち、主として古代（奈良～十一世紀）の文学や文化についての基礎的な知識を学ぶことを目標とする。中国大陸の影響を初めとして、いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらした、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をもたらし、後世にいかなる影響を与えたかなどについて、文学作品に即して考える。

222010 日本文学概論（古典）AⅡ

【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として古代から中世（十世紀～鎌倉・室町）の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。
- ・この時代の文学が近世（江戸）の文学とどうつながり、また大きく転換しているかについて理解する。

【概要】 日本古典文学のうち、主として古代から中世（十世紀～鎌倉・室町）の文学や文化についての基礎的な知識を学ぶことを目標とする。いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらした、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をもたらし、近世（江戸）の文学にいかにつながり、いかなる影響を与えたかなどについて、歴史的視点を持ち、文学作品に即して考える。

222011 日本文学概論（古典）BⅠ

【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として中世（鎌倉・室町）の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・この時代の文学が、古代（平安）の文学からどうつながり、どのように転換しているかについて理解する。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。

【概要】 日本古典文学のうち、古代（平安）の文学を振り返りながら、主として中世（鎌倉・室町）の文学についての基礎的な知識を学ぶことを目標とする。いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらした、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をもたらし、後世にいかなる影響を与えたかなどについて、歴史的視点を持ち、文学作品に即しつつ論じていく。

222012 日本文学概論（古典）BⅡ

【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として近世（江戸）の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。

【概要】 日本古典文学のうち、主として近世（江戸）の文学についての基礎的な知識を学ぶことを目標とする。いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらした、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をもたらし、後世にいかなる影響を与えたかなどについて、歴史的視点を持ち、文学作品に即しつつ論じていく。

222013 日本文学概論（近現代）Ⅰ

【到達目標】

- ・個別作品の解釈を重ねることで、明治・大正から昭和に至る近代文学史を構築し理解する。
- ・複数の作品分析を通して、近代文学研究の多様な方法を身につける。

【概要】 日本の近代文学について、広く基礎的な知見を身につける。明治・大正から昭和に至る代表的作家の文学作品を時代順に取り上げ、一つ一つ具体的に分析し、それらの芸術的特質や文学的意義を明らかにする。また、該当期の文学が全体としてどのような歴史を形作ってきたかを解明する。特に、明治期については独自の文学的世界の創造と多様化、大正期についてはその文学的成熟度の高さを、作品分析と考察によって跡付けてゆく。

222014 日本文学概論（近現代）Ⅱ

【到達目標】

- ・個別作品の解釈を重ねることで、昭和から現代に至る近現代文学史を構築し理解する。
- ・複数の作品分析を通して、近現代文学研究の多様な方法を身につけ、応用力を養う。

【概要】 日本の近現代文学について、広く基礎的な知見を身につける。昭和から現代に至る代表的作家の文学作品を時代順に取り上げ、一つ一つ具体的に分析し、それらの芸術的特質や文学的意義を明らかにする。また、該当期の文学が全体としてどのような歴史を形作ってきたかを解明する。昭和期については戦前を「解体」、戦後から現代を「模索と再生」という枠組みで捉え、それらを作品によって跡付けてゆく。

222015 日本の文化（芸能）Ⅰ

【到達目標】

- ・演劇・舞踊・話芸・歌謡といった日本の芸能についての基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について理解する。
- ・芸能における身体表現がジャンルによっていかなる特徴を持っているかについての理解を深める。

【概要】 雅楽、能・狂言、歌舞伎、文楽、落語・講談といった、いわゆる日本の古典芸能が、国際的な視野から見ても、日本文化を代表するものの一角を担っていることは疑う余地がない。本授業では、演劇・舞踊・話芸・歌謡といった芸能のなかから、適宜特定のジャンルを取り上げ、その基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について考究することを目的とする。これらはパフォーマンス・アーツである以上、身体表現であることが第一義である。授業では写真や映像を適宜用いて、そうした表現がジャンルによっていかなる特徴を持っているかについての理解も深めていく。

222016 日本の文化（芸能）Ⅱ

【到達目標】

- ・演劇・舞踊・話芸・歌謡といった日本の芸能についての基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について理解する。
- ・文学が、芸能における身体表現をどのような形で言語化してきたかについての理解を深める。

【概要】 雅楽、能・狂言、歌舞伎、文楽、落語・講談といった、いわゆる日本の古典芸能が、国際的な視野から見ても、日本文化を代表するものの一角を担っていることは疑う余地がない。本授業では、演劇・舞踊・話芸・歌謡といった芸能のなかから、適宜特定のジャンルを取り上げ、その基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について考究することを目的とする。これらはパフォーマンス・アーツである以上、身体表現であることが第一義である。そうした表現を、文学がどのような形で言語化してきたかについての理解も深めていく。

222017 日本の文化（古典文化）Ⅰ

【到達目標】

- ・「古典」として、長く日本の文学や文化に大きな影響を与えた王朝貴族の文学、文化、感性の様相を、文学作品などをもとに理解する。
- ・中国の文学や文化などの影響を受けながら、日本の古典文化がどのような特質を育んできたかを理解する。
- ・現代に残存する古典文化を見だし、日本文化の特質と古典文化との関わりについて考える力を養う。

【概要】 「源氏物語」などを生み出した平安時代の貴族文化およびその文学は、鎌倉時代に入ると拠るべき規範、「古典」として権威化し、以後王朝貴族社会が衰退しても、長く日本の文学や文化に影響を与え続けた。本授業では、そうした「古典文化」の様相を、主として平安・鎌倉時代の文学作品の叙述などをもとに考える。日本の古典文化が、中国の文学や文化の影響を受けながら、どのように独自の美意識、思想、感性を育んだのか、その結果、どのような人間の姿を見つめる文学作品が生み出されたのかを明らかにする。また現代に残る古典文化の影響について考える。

222018 日本の文化（古典文化）Ⅱ

【到達目標】

- ・「古典」として、長く日本の文学や文化に大きな影響を与えた王朝貴族の文学、文化、感性の様相を、文学作品などをもとに理解する。
- ・「古典」として権威化された王朝貴族の文学や文化が、以後の日本の文化にどのような影響を与えたかを理解する。
- ・現代に残存する古典文化を見だし、日本文化の特質と古典文化との関わりについて考える力を養う。

【概要】 「日本の文化（古典文化）Ⅰ」に引き続き、「古典文化」の様相を、主として平安・鎌倉時代の文学作品の叙述などをもとに考え、その特質の理解を深める。そして、中国の文学や文化の影響を受けて形成された「古典文化」のなかで育まれた美意識、思想、感性が、後世にどのように影響を与え、現代にまで残存して、「日本の文化」の一端を形成しているかを考える。

222019 漢文学概論Ⅰ

【到達目標】

- ・中国文学、特に古代から中世にかけての歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。
- ・中国文学・思想等の原典を読解する基礎力を身につける。
- ・中国文学の全体像を概観し日本文学に与えた影響を理解する。

【概要】 中国文学の歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。主として古代・中世の文学を中心に学び、上代以来の古典詩、諸子百家以来の散文、『春秋左氏伝』『史記』等の歴史文学その他をとりあげる。それぞれの文学作品・文献の特徴を原文に即して読解し、その成立の文化的背景、社会情勢、慣習等にも立ち入って考察する。また、それぞれの作品が同時代や後世、日本文学に与えた影響について分析する。中国古典文学の全体像をつかみ、その豊かさと価値を、作品に即しながら、多元的な視点からとらえる。

222020 漢文学概論Ⅱ

【到達目標】

- ・中国文学、特に中世から近世にかけての歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身に

つける。

- ・中国文学・思想等の原典を読解する基礎力を身につける。
- ・中国文学の全体像を概観し日本文学に与えた影響を理解する。

【概要】 中国文学の歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。主として中世・近世の文学を中心に学び、古典文語小説と白話小説、宋词や元曲等の歌曲などをとりあげる。それぞれの文学作品・文献の特徴を原文に即して読解し、その成立の文化的背景、社会情勢、慣習等に立ち入って考察する。また、それぞれの作品が同時代や後世、日本文学に与えた影響について分析する。中国古典文学の全体像をつかみ、その豊かさと価値を、作品に即しながら、多元的な視点からとらえる。

222021 Japanese Culture & Literature

【到達目標】

- ・世界から見た日本の文学や文化の特徴を理解する。
- ・英語で日本の文学について説明し、発信する力を養う。
- ・英語で日本の文化について説明し、発信する力を養う。

【概要】 英語に翻訳された日本の文学作品、あるいは英語で書かれた日本文学論や文化論を読みながら、世界から、日本の文学や文化のどのような点に興味をもたれ、どのような特徴があると捉えられているのかを理解する。こうした文献をふまえたうえで、外国人の興味や関心のありかを理解しそれに応える形で、あるいは逆にどのような形で「日本」の特質を発信してゆくべきであるかを自ら考えて、日本の文学や文化を、英語で発信してゆく力を身につける。

■ 特殊講義

222101 日本語学（表記・語彙）A

【到達目標】

- ・普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を養う。
- ・表記・語彙の分野について、共時的通時的観点から捉える力を身につける。

【概要】 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。特に現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて、講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるように導く。本講義では、表記・語彙の分野のトピックを中心に扱う。共時的観点のみならず通時的観点からの考察も重視し、研究史を踏まえた見方ができるようにする。

222102 日本語学（表記・語彙）B

【到達目標】

- ・ 普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を身につける。
- ・ 表記・語彙の分野について、応用分野も視野に入れながら、自ら考察する力を身につける。

【概要】 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて、講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるよう導く。本講義では、表記・語彙の分野のトピックを中心に扱う。対照言語学的視点や、国語教育・日本語教育・コンピュータによる日本語処理等への応用も視野に入れた分析を行う。

222103 日本語学（文法・談話）A

【到達目標】

- ・ 普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を養う。
- ・ 文法・談話の分野について、共時的通時的観点から捉える力を身につける。

【概要】 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて、講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるよう導く。本講義では、主に文法・談話の分野のトピックを扱う。文-文法のみでなく、談話・文章の文法も視野に入れて考察する。共時的観点のみならず通時的観点からの考察も重視し、研究史を踏まえた見方ができるようにする。

222104 日本語学（文法・談話）B

【到達目標】

- ・ 普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を身につける。
- ・ 文法・談話の分野について、応用分野も視野に入れながら、自ら考察する力を身につける。

【概要】 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて、講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるよう導く。本講義では、主に文法・談話の分野のトピックを扱う。文-文法のみでなく、談話・文章の文法も視野に入れて考察する。対照言語学的視点や、国語教育・日本語教育・コンピュータによる日本語処理等への応用も視野に入れた分析を行う。

222105 日本語史（古代・中世語）A

【到達目標】

- ・ 上代語が持つ特徴を理解する。
- ・ 中古語の実態と特徴とを理解する。
- ・ 文献の解読に努め、上代・中古の言語的特徴を理解する。
- ・ 古代語の変化を捉え、その史的特徴を位置づけ理解する。

【概要】 上代から中世までの日本語の変遷を、諸種の文学作品や、古文書や仏教者遺文等にも資料の視野を広げて見て行く。変化の実態と特徴は、直接に文献に触れることが重要であり、複製本の資料等を読解しながら分析していく。併せて、各時代語の特徴を的確に論述している先行研究を取り上げて、資料の調査方法、分析の視点、記述の仕方、論述のまとめ方等を学んで行く。扱う時代は上代から中世までで、特に上代、中古を中心とする。

222106 日本語史（古代・中世語）B

【到達目標】

- ・ 中古語の実態と特徴とを理解する。
- ・ 文献の解読に努め、中古・中世の言語的特徴を理解する。
- ・ 古代語と近代語の過渡期中の中世語の変化を捉え、その史的特徴を位置づけ理解する。

【概要】 上代から中世までの日本語の変遷を、諸種の文学作品や、古文書や仏教者遺文等にも資料の視野を広げて見て行く。変化の実態と特徴は、直接に文献に触れることが重要であり、複製本の資料等を読解しながら分析していく。併せて、各時代語の特徴を的確に論述している先行研究を取り上げて、資料の調査方法、分析の視点、記述の仕方、論述のまとめ方等を学んで行く。扱う時代は上代から中世までで、特に中古から鎌倉時代を中心とする。

222107 日本語史（中世・近世語）A

【到達目標】

- ・ 中世語や、近世語が持つ特徴を理解する。
- ・ 近世語への過渡期である中世語の変化の過程を捉え、その史的な位置づけを理解する。
- ・ 文学作品、宗教者遺文、芸能文書等の解読に努め、その言語的特徴を把握する。

【概要】 中世から近世までの日本語の変遷を、諸種の文学作品のみならず、古文書や仏教者やキリシタン等の遺文にも資料の視野を広げて、その実態と特徴とを講述する。この時期は、識字層や地域の拡大、人間が活発に交流した時期である。又、芸能文学の隆盛、欧米文化の摂取など、多彩な分野の文献が生み出された時期でもある。それらの文献を直接に触れて読解しながら日本語の近代語へと移って行く様子を捉える。扱う時代は中世から近世までで、特に中世に重点をおく。

222108 日本語史（中世・近世語）B

【到達目標】

- ・中世語や、近世語が持つ特徴を理解する。
- ・近世語への過渡期である中世語の変化の過程を捉え、その史的立場づけを理解する。
- ・文学作品、宗教者遺文、芸能文書、キリシタン文書等の解読に努め、その言語的特徴を把握する。

【概要】 中世から近世までの日本語の変遷を、諸種の文学作品のみならず、古文書や仏教者やキリシタン等の遺文にも資料の視野を広げて、その実態と特徴とを講述する。この時期は、識字層や地域の拡大、人間が活発に交流した時期である。又、芸能文学の隆盛、欧米文化の摂取など、多彩な分野の文献が生み出された時期でもある。それらの文献を直接に触れて読解しながら日本語の近代語へと移って行く様子を捉える。扱う時代は中世から近世までで、特に近世に重点をおく。

222109 社会言語学A

【到達目標】

- ・日常的にげなく使っている「ことば」に対する問題意識を持つ姿勢を身につける。
- ・「ことば」の多様性を客観的に捉え、探究する力を培う。

【概要】 社会生活の中での言語の諸相とそのとらえ方について、主に日本語の具体事例を取り上げながら学ばせる。日本語の地理的変異に着目し、貴重な言語資料である全国に広がる様々な語の分布から、ことばの生成・発展・衰滅のプロセスをたどっていく。小方言から中核方言への統合現象や衰退する伝統方言に代わる新しい方言の発生・浸透などの実態もふまえ、共通語との接触による方言の変容、それに伴う方言の運用や意識の問題についても考えていく。

222110 社会言語学B

【到達目標】

- ・日常生活における「ことば」の実態や変容を理解する。
- ・社会や文化とのかかわりの中で、「ことば」が運用される様子を客観的に捉える力を養う。

【概要】 社会生活の中での言語の諸相とそのとらえ方について、主に日本語の具体事例を取り上げながら学ばせる。日本語の変種を年齢差、性差、場面差などの多角的な視点からとらえ、表現形式や談話構造のバラエティを探っていく。ことばの規範、アイデンティティとことばとの関係を言語意識の側面からとらえ、コードスイッチング、コミュニケーションストラテジー、敬語選択などの言語運用に具現されていく状況を、背後で作用している様々な社会文化的要因を視野に入れながら考えていく。

222111 比較文化 A

【到達目標】

- ・ 比較文化に関する基本的な知見を身につける。
- ・ 自己の文化圏とは異なる文化的価値を理解する。
- ・ 異文化を鏡として自己を見つめ直す力を養う。

【概要】 日本語を媒介として、他の国やエリアに関わる文化受容の諸問題を考察する。近現代の日本人が異文化と向き合うことで、どのような他者像を形成し、どのように自己のアイデンティティを考えたのかを明らかにしてゆく。また異文化との交流によって、複数の文化が混ざり合い、新たな文化が形成される過程を分析する。

222112 比較文化 B

【到達目標】

- ・ 国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解する。
- ・ 国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、その考察を比較文化研究全般に応用できる力を身につける。
- ・ 国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、比較文化研究を自律的に遂行できる課題探究力を身につける。

【概要】 本講義は、国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解するとともに、その理解を発展させ、国際的な視野から見た比較文化研究全般に応用できる力を養うことを目的とする。また、講義で扱う具体的な事例を参照して、自ら比較文化研究に資する課題の発見や探求をおこなえる力を涵養する。国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる事例としては、主に英語圏から日本を含む非英語圏に及んだ文化的影響関係を扱う。

222113 表象文化 A

【到達目標】

- ・ 表象文化に関する基本的な知見を身につける。
- ・ 表象文化の歴史的変化を理解する。
- ・ 文化領域相互の影響関係について分析する力を養う。

【概要】 日本語を媒介として、日本で形成されてきた表象文化と、海外から発信され日本に紹介された表象文化を考察する。明治・大正・昭和の時代に、西欧文化と向き合うことで、日本の都市空間や文化は大きく変容した。文学を含む言語表現や、写真や美術などのヴィジュアルな表現を通して、モダニズムの姿を明らかにする。

222114 表象文化B

【到達目標】

- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴と文化的社会的影響を理解する。
- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、その考察を表象文化研究全般に応用できる力を身につける。
- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、表象文化研究を自立的に遂行できる課題探究力を身につける。

【概要】 本講義は、国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解するとともに、その理解を発展させ、国際的な視野から見た表象文化研究全般に応用できる力を養うことを目的とする。また、講義で扱う具体的な事例を参照して、自ら表象文化研究に資する課題の発見や探求をおこなえる力を涵養する。国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる事例としては、主に英語圏から日本を含む非英語圏へ広がりを見せたものを扱う。

222115 日本古代文学A

【到達目標】

- ・日本の古代文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の古代文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の古代文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の古代文学（七世紀ごろ～十世紀ごろ）について、基本的な知識を学び、かたがた作品を実際に読むことを通じて、古代文学の世界にふれる。それぞれの古代文学は、古代社会のどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかから生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。古代文学の作品に即して、漢文学や史実、民俗学その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとにしながら古代文学の特徴と達成について、考えていく。

222116 日本古代文学B

【到達目標】

- ・日本の古代文学の有様や、その背景となる文学的土壌、社会体制などについて理解する。
- ・日本の古代文学を解釈するのに必要な、知識や見解を習得する。
- ・日本の古代文学を批評的に読み、説明する力を養う。

【概要】 日本の古代文学（七世紀ごろ～十世紀ごろ）について、「日本文学（古代）A」とは異なる角度から取り上げて基本的な知識を学び、かたがた作品を実際に読むことを通じて、古代文学の世界にふれる。それぞれの古代文学は、古代社会のどのような文学的土壌や、社

会情勢、慣習などのなかから生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。古代文学の作品に即して、漢文学や史実、民俗学その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとにしながら古代文学の特徴と達成について、考えていく。

222117 日本中古文学 A

【到達目標】

- ・日本の中古文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の中古文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の中古文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の中古文学（九世紀ごろ～十一世紀ごろ）をとりあげて、基本的な知識を学び、かたがた作品を実際に読むことを通じて、中古文学の世界にふれる。それぞれの中古文学は、平安時代におけるどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかで生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。中古文学の作品に即して、漢文学や史実その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとにしながら中古文学の特徴と達成について、考える。

222118 日本中古文学 B

【到達目標】

- ・日本の中古文学の有様や、その背景となる文学的土壌、社会体制などについて理解する。
- ・日本の中古文学を解釈するのに必要な、知識や見解を習得する。
- ・日本の中古文学を批評的に読み、説明する力を養う。

【概要】 日本の中古文学（九世紀～十一世紀ごろ）について、日本文学（中古）A とは異なる角度からとりあげて、基本的な知識を学び、かたがた作品を実際に読むことを通じて、中古文学の世界にふれる。それぞれの中古文学は、平安時代におけるどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかで生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。中古文学の作品に即して、漢文学や史実その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとにしながら中古文学の特徴と達成について、考える。

222119 日本中世文学 A

【到達目標】

- ・日本の中世文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の中世文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の中世文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の中世文学（十二世紀～十六世紀ごろ）について、基本的な知識を学び、作

品を実際に読むことを通じて、中世の文学や文化・芸能の世界に触れる。それぞれの中世文学は、劇的な転換期である院政期・鎌倉・室町といった時代に、どのような文学的土壌や社会情勢、文学史的動態の中から生まれたのか。また、故にどのような特徴を有しているのか。個々の作品に即し、漢文学や歴史学等周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈を基にしながら、中世文学の特徴と達成について考えていく。

222120 日本中世文学B

【到達目標】

- ・日本の中世文学の有様や、その背景となる文学的土壌、社会体制などについて理解する。
- ・日本の中世文学を解釈するのに必要な、知識や見解を習得する。
- ・日本の中世文学を批評的に読み、説明する力を養う。

【概要】 前期に引き続き、日本の中世文学（十二世紀～十六世紀ごろ）について、日本中世文学Aとは異なる視点から作品を実際に読むことを通じて、中世の文学や文化・芸能の世界に触れる。中世文学は劇的な転換期であった院政期・鎌倉・室町といった時代に、どのような文学的土壌や社会情勢、文学史的動態の中から生まれたのか。また、故にどのような特徴を有しているのか。個々の作品に即し、漢文学や歴史学等周辺知識も援用しながら読み解き、中世文学の特徴と達成について考えていく。

222121 日本近世文学A

【到達目標】

- ・日本の近世文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の近世文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の近世文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の近世文学（十七世紀ごろ～十九世紀ごろ）をとりあげて、基本的な知識を学び、作品を実際に読むことを通じて、近世の文学や芸能の世界にふれる。それぞれの近世文学は、江戸時代におけるどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかで生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。作品に即して、中国文学、歴史その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとに、近世文学の特徴と達成、それを育んだ文化について、考えていく。

222122 日本近世文学B

【到達目標】

- ・日本の近世文学の有様や、その背景となる文学的土壌、社会体制などについて理解する。
- ・日本の近世文学を解釈するのに必要な、知識や見解を習得する。
- ・日本の近世文学を批評的に読み、説明する力を養う。

【概要】 日本の近世文学（十七世紀ごろ～十九世紀ごろ）について、「日本近世文学A」とは異なる角度からとりあげて、基本的な知識を学び、作品を実際に読むことを通じて、近世の文学や芸能の世界にふれる。それぞれの近世文学は、江戸時代におけるどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかで生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。作品に即して、中国文学、歴史その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとに、近世文学の特徴と達成、それを育んだ文化について、考えていく。

222123 日本近代文学A

【到達目標】

- ・都市がもつ固有の文化的特性について理解する。
- ・都市の近代化の歴史と文化遺産の関わりについて習得する。
- ・都市の文化的特性が文学作品で果たす役割について説明できる。

【概要】 文学の舞台となる都市は東京だけではない。古代への通路の役割を担う奈良や、王朝文化の気配を漂わせる京都、中世の武士の足跡を残す鎌倉など、都市によって成立する物語は異なっている。またそれらの都市が近代文学の舞台となるためには、近代的交通網の発達や、文化遺産の整備、近代的都市機能の設置などが不可欠だった。都市というトポスが、文学作品の生成とどのように関わっているのかを考える。

222124 日本近代文学B

【到達目標】

- ・アヴァンギャルドの各流派の基本的な知識を身につける。
- ・アヴァンギャルドを理解する文化的条件が日本でどのように成立したのかを理解する。
- ・日本の近代文学の規範性をアヴァンギャルドがどのように破壊したかを説明できる。

【概要】 日本近代文学を対象にアヴァンギャルドの研究を行う。二〇世紀前半にヨーロッパの未来派・立体派・アナーキズム・構成主義・ダダイズムなどの流派が、日本に紹介され、文学の新しいステージを作り出していった。それは単に流入したのではない。それを理解する地盤が日本で形成されたときに、初めて日本の流派として成立するのである。歴史的社会的文化的な事象と連動させながら、アヴァンギャルドと文学の関係を考察する。

222125 日本近代文学C

【到達目標】

- ・近代文学に関わる多様な問題系の歴史について理解する。
- ・近代文学が伝統を継承しながら、どのように切断していくのかを理解する。
- ・多様な問題系が作品形成とどう関わっているのかを説明できる。

【概要】 作品を文学者個人の場所に還元して読むのではなく、同時代の他の文学者の作品と横並びにして読むとき、各時代に尖鋭化してくる問題系が浮かび上がってくる。伝統の継

承と切断、作品形式への問い、キリスト教や仏教との葛藤、浪漫主義・象徴主義・社会主義などのイズムとの出会い、都市への人口集中と田園の発見、文語体と口語体など、問題系は多岐にわたっている。問題系の歴史を追いながら、そのなかで作品の姿を浮かび上がらせる。

222126 日本近代文学D

【到達目標】

- ・ 文学者個人の歴史と、文学の歴史が、どのように交差しているのかを理解する。
- ・ 文学者個人の行程が、文化圏や時代性にどのように規定されているのかを理解する。
- ・ 文学において「作者」がどのような装置なのかを説明できる。

【概要】 文学者の行程を追いかけていくと、そこには個人が直面するさまざまな問題が現れる。故郷と異郷、家と家族、青年期に出会う文学と宗教、時代思潮との積極的な関わり、同時代文学者との距離、恋愛と結婚、文学上の挫折と方法の模索、戦争による死意識など。文化圏と時代性に規定されながら、自らの文学を形成していこうとする軌跡が浮き彫りになる。「作者」とはどのような装置なのかを、読者や読書行為の現場も含めて明らかにする。

222127 日本現代文学A

【到達目標】

- ・ 現代文学に描かれた〈私〉の特質を明らかにするとともに、その変容と新たな表現模索のプロセスを理解する。
- ・ 現代文学が、社会的文化的事象から影響を受けつつも、それらを批評的に乗り越えようとしてきた歴史を理解する。
- ・ 現代文学研究に必要な知識と特有の分析方法を学び深め、それを応用する力を養う。

【概要】 主として80年代以降の現代文学(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を取り上げ、そこに描かれた〈私〉の特質と表現のありようを明らかにする。〈私〉は、リアリズム小説では時代や社会と深いかかわりを持ち、制度や既成の価値観との戦い、自我形成と自意識のゆらぎ、告白やリアリズム文体といった問題系と結びつく。また、幻想文学では、分身や変身、夢やイメージと想像力、無意識、幻想的表現といった問題系と結びつく。これらを総合的に捉えて、近代文学における〈私〉の表現史を編み上げてゆく。

222128 日本現代文学B

【到達目標】

- ・ 現代文学における、ジェンダー・セクシュアリティ規制のありようと、脱構築に向かうプロセスを学び、現代文学が社会的文化的事象から影響を受けつつも、それらを批評的・創造的に乗り越えようとしてきた歴史を理解する。
- ・ ジェンダー研究、クイア批評の発想と方法を学び、それを応用する力を養う。

【概要】 主として80年代以降の現代文学(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を取り上げ、ジェンダー規制や男女二分法のセクシュアリティ観が、どのように文学に捉えられ組み換えられてきたかを明らかにする。特にジェンダー規制が語り手の意識の深部にまで浸透していることに着目し、語りやイメージの分析によってそれをあぶりだしてゆく。また、現代文学における新たなセクシュアリティ・イメージの提示とその表現についても考える。

222129 日本現代文学C

【到達目標】

- ・現代文学における想像力と言語表現との関係や物語の構造を理解し、該当期の表現史の構築を試みる。
- ・作品(またはテキスト)の表現分析方法を学び、応用力を涵養する。
- ・複数の文学理論を学び研究の視座を開くと共に、研究対象にふさわしい理論を選び、それを用いて分析・考察する実践力を養う。

【概要】 現代文学(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を時系列に取り上げ、「想像力・物語構造・表現」という観点から分析し、その芸術的特性と文学的意義を明らかにする。また、それらの相互関係を考えながら、該当期の表現史の編み上げを試みる。分析と考察にあたっては、海外文学や文化の影響も考え併せながら、語り論、イメージ論、表象文化論、精神分析学、言語学、レトリック論など、さまざまな理論と方法を必要に応じて有効に取り入れ、その援用をはかる。

222130 日本現代文学D

【到達目標】

- ・現代文学における主要テーマを他のテーマと関連付けつつ学ぶことで、その展開と表現創造の過程を多層的なものとして理解する。
- ・現代文学が、社会・文化的事象に影響を受けながらも、それらを批評的・創造的に乗り越え組み換えてきた歴史を理解する。
- ・現代文学・サブカルチャー研究特有の方法論を身につけ、応用する力を培う。

【概要】 現代文学(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を対象としたテーマ研究を行う。現代を考えるに重要なテーマ、例えば「生命」「情報」「病理」「家族」「幻想」といったものの中から一つを選定し、それを軸に複数の作品の分析と解釈を行う。それらを積み重ねることによって、そのテーマの生成と変容、複雑化などの歴史を辿ってゆく。考察に際しては、作品の背後に広がる法制度や経済構造などの変化、メディアからの影響などにも目を向け、対象との相関関係を探る。必要に応じてさまざまな文学理論や研究方法を学びとりつつ、その援用をはかる。

222131 日本文化学A

【到達目標】

- ・ヨーロッパのモダニズムの各流派について理解する。
- ・文化諸領域に渉るモダニズムの広がりについて習得する。
- ・日本のモダニズム文化の特徴を説明できる。

【概要】 第一次世界大戦前後のヨーロッパのモダニズムは、日本のモダニズムを支えるバックボーンになった。フランスで始まるシュールレアリスムや、ロシアでスタートするフォルマリズム、ドイツで流行するノイエ・ザハリヒカイトなどは、日本の映画・演劇・写真・美術・文学など、文化諸領域に幅広い影響を与えている。さらにそれらは東アジアの新しい文化のステージも創出する。西洋文化との比較のなかで、日本のモダニズム文化の展開と特質を明らかにする。

222132 日本文化学B

【到達目標】

- ・視覚的な文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・聴覚的な文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・多様な隣接領域との交流によって、文学がどのように変容したかを説明できる。

【概要】 文学というジャンルは単独で存在するのではない。映画のモンタージュという方法や、シナリオの形式は、文学表現の世界を大きく変えた。美術と文学の関係は、装幀や挿絵からも読み取れるし、詩画集という形式を取ることもある。ラジオ放送は文学者に講演や朗読の機会を提供し、言語の聴覚性という問題を鮮明にした。映画や写真、美術やラジオ放送など、隣接するジャンルとの相互関係のなかで、文学に新しい光を当てていく。

222133 中国の文学と文化 A

【到達目標】

- ・中国文学の多様なジャンルについて理解する。
- ・中国文学における作家または作品と社会との関係について理解する。
- ・中国文学の作品を精密に読解するとともに、その社会的背景等を調べ、分析する力を身につける。

【概要】 中国文学の多様な側面を、おもに小説・詩等を通して考える。小説の分析を中心とするが、補足的に他のジャンルの作品などを交え、立体的に作家と中国社会との関連・葛藤の様相を考える。作品を各自がきちんと読んでおくことを前提とし、積極的な意見発表・問題提起を重視し、さまざまな角度から分析したい。中国文学の作家の中から代表的な作家をとりあげ、作家の生涯を多様な作品を通して、読み解く。伝記的事実についても、多角的に検討する。

222134 中国の文学と文化B

【到達目標】

- ・さまざまなジャンルにわたる中国文学の多様性について理解する。
- ・中国文学における作家あるいは作品と社会背景との関わりについて理解する。
- ・中国文学の作品をていねいに読解するとともに、その社会的背景等を通じて、分析する力を身につける。

【概要】 中国文学の多様な側面を、おもに各種の散文作品を通して考える。詩、その他の韻文などを交え、立体的に作家と中国社会との関連・葛藤の様相を考える。作品を各自がきちんと読んでおくことを前提とし、積極的な意見発表・問題提起を重視し、さまざまな角度から分析したい。中国文学の中から、数名の作家をとりあげ、文学の変革を彼らがどのように試み、さまざまな文学ジャンルをどう受けとめたかを、時代背景・文学理論にも触れて考える。

■基盤演習

222201 古典文学基礎演習（くずし字）

【到達目標】

- ・「くずし字」を読みこなすための基礎的な能力を身につける。
- ・文学作品およびその関連資料の、翻刻・活字化される以前の諸形態にも注目できるような姿勢を養う。

【概要】 古典文学を研究するために、自ら作品の原本を確認、分析する必要があるのは言うまでも無いが、書かれている文字（いわゆる「くずし字」）が読めなければ、それは不可能である。本授業では、古典文学の原本はもちろん、近代文学の作家の草稿や書簡のうち、「くずし字」が使われている自筆資料を、自分で解読するために必要不可欠な技能、すなわち「くずし字」を読みこなすための能力の基礎を養う。

222202 古典文学基礎演習（解釈）

【到達目標】

- ・日本古典文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古典文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・作品に対し自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 日本の古典文学作品を丁寧に精読し、語釈等を通じて適切な解釈（現代語訳）を施し、あわせてそれらに対する私見を提示することで、個々の文学作品をより深く味わい、理解することを目指す。発表者は自らの担当範囲を上述の立場から丁寧に予習・解説（その

過程で、古典文学解釈の基礎を学ぶこととなる)し、一方発表者以外の学生は、こちらも作品と丁寧に向き合いながら発表者の意見を汲み取り、その上でなお残る問題を指摘し、相互のやりとりの中で問題の解決を目指す。

222203 日本古典文学演習（講読）A

【到達目標】

- ・日本古典文学の解釈に必須な知見を身につける。
- ・辞書・索引・注釈書などの文献を利用して、自分自身の読みを構築する力を養う。
- ・作品の構成、文脈等をわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 教員の講義や代表的な注釈書をもとに、まとまった分量の日本の古典文学作品を読み、語釈等による適切な解釈を前提としつつ、構造、構成、文化といった大きな視野で理解することを目指す。発表者は講義を聴いた上で、自らの担当範囲を上述の立場から再度読み解き、場合によっては担当範囲以外の内容もふまえて、私見を示す。一方発表者以外の学生は、同様に自身も熟読したうえで発表者の意見を汲み取り、その上でなお残る問題を指摘し、相互のやりとりの中で問題の解決を目指す。

222204 日本古典文学演習（講読）B

【到達目標】

- ・日本古典文学の解釈に必要な不可欠な知見を身につける。
- ・辞書・索引・注釈書などの文献を利用しながら、自分自身の読みを作り上げる力を養う。
- ・作品の構成、文脈等を明確に提示して、他者との対話を通じて自らの意見を作り直す力を養う。

【概要】 教員の講義や代表的な注釈書をもとに、まとまった分量の「日本古典文学演習（講読）A」とは異なる日本の古典文学作品を読み、語釈等による適切な解釈を前提としつつ、構造、構成、文化といった大きな視野で理解することを目指す。発表者は講義を聴いた上で、自らの担当範囲を上述の立場から再度読み解き、場合によっては担当範囲以外の内容もふまえて、私見を示す。一方発表者以外の学生は、同様に自身も熟読したうえで発表者の意見を汲み取り、その上でなお残る問題を指摘し、相互のやりとりの中で問題の解決を目指す。

222205 現代日本語演習 I

【到達目標】

- ・日本語学のさまざまな問題について考究する力を養う。
- ・既存のデータやツールの使用法を学ぶ。
- ・口頭発表の力と文章表現の力を向上させる。

【概要】 現代語を対象に、日本語学のいろいろな問題について広く考究する。自分でデー

タを集め、分析することが基本となる。既存のデータやツールの使用法も学んでゆく。本演習では、書き言葉を対象とする。複数回の報告および討論を踏まえたレポートの提出を義務づけ、口頭発表の力と文章表現の力の双方の向上をも目標とする。

222206 現代日本語演習Ⅱ

【到達目標】

- ・日本語学のさまざまな問題について考究する力を身につける。
- ・既存のデータやツールの使用法を身につける。
- ・口頭発表の力と文章表現の力を向上させる。

【概要】 現代語を対象に、日本語学のいろいろな問題について広く考究する。自分でデータを集め、分析することが基本となる。既存のデータやツールの使用法も学んでゆく。本演習では、書き言葉に加え話し言葉についても対象とし、話し言葉と書き言葉の対照や、同じ話し言葉（書き言葉）でも種類が異なる場合に、どのような違いが現れるかなどにも目を配りながら分析する。複数回の報告および討論を踏まえたレポートの提出を義務づけ、口頭発表の力と文章表現の力の双方の向上をも目標とする。

222207 日本語史演習Ⅰ

【到達目標】

- ・文献を解読することによって、資料研究の調査方法を習得する。
- ・文献の言語を分析することによって、日本語史研究の分析手法を習得する。
- ・諸本・異本を比較することによって、言語特徴を把握し、言語の史的特徴を理解する。
- ・報告や討論を通して、自己の分析を再検討する。

【概要】 日本語史の史料となる文献を扱う方法を学び取ることを目標とする。上代から近世に至るまでの日本語の変遷を、時代別に資料となる文献に直接触れて学んでいく。それぞれの時代の日本語を体系的に記述、分析するためには、言語資料をどう扱うかという方法の訓練である。文献の解読と基礎的な記述を行う。分析文献は各時代の代表的なものを扱う。

222208 日本語史演習Ⅱ

【到達目標】

- ・文献を解読することによって、資料研究の調査方法を習得する。
- ・文献の言語を分析することによって、日本語史研究の分析手法を習得する。
- ・諸本・異本を比較することによって、言語特徴を把握し、言語の史的特徴を理解する。
- ・発表や討論を通して、自己の分析を再検討し、言語分析の方法を習得する。
- ・自己の分析を論文化する方法を学ぶ。

【概要】 日本語史の史料となる文献を扱う方法を学び取ることを目標とする。上代から近世に至るまでの日本語の変遷を、時代別に資料となる文献に直接触れて学んでいく。それぞ

れの時代の日本語を体系的に記述、分析するためには、言語資料をどう扱うかという方法の訓練である。分析文献中に設定したテーマをより発展・進化させるために先行研究や関連資料等を積極的に引用して、問題の史的立場づけを行っていく。分析文献は各時代の代表的なものを扱う。

222209 社会言語学演習 I

【到達目標】

- ・ 研究目的に応じたデータを収集できる力を身につける。
- ・ 収集データを適切に処理する能力を培う。
- ・ 研究成果を明解に発表する力を向上させる。

【概要】 文献資料やコーパス、場合によってはアンケート調査等により、地域差も含めた現代日本語のバラエティの実態をその背景となる社会状況と関連させながら検討していく。本演習では様々な言語データの収集方法についても学んでいく。

222210 社会言語学演習 II

【到達目標】

- ・ 研究目的に応じたデータを収集できる力を身につける。
- ・ 収集データを適切に処理する能力を培う。
- ・ 研究成果を明解に発表する力を向上させる。

【概要】 文献資料やコーパス、場合によってはアンケート調査等により、地域差も含めた現代日本語のバラエティの実態を捉えた上で、言語変化の過程とその要因について考察を深めていく。本演習では、研究成果を発信し、その効果測定も行っていく。

222211 日本古代文学演習 A I

【到達目標】

- ・ 日本の古代文学を解釈するに必須な、基本的知見を身につける。
- ・ 日本の古代文学、和歌文学を解釈するに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・ 種々の文献をもとに自らの意見を構築してわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を構築する力を養う。

【概要】 日本の古代文学、特に和歌や歌謡に着目し、精読し、その歌の世界を可能な限り深く探求することを目標とする。また散文部分と関わることで歌や作品世界がいかにかままっているかを考える。本文批判に始まり、語法や語彙について検討し、また歴史的な背景を知ることによって、総合的にその意味や価値について考えてゆく。かつ注釈書や研究書を読解し、索引によって用例を調査する方法についても、実際に触れることによって学ぶ。各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

222212 日本古代文学演習 A II

【到達目標】

- ・日本の古代文学を解釈するに必須な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に古代文学を、辞書・索引・注釈書などの文献を利用して解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに構築した自らの意見をわかりやすく提示し、議論のなかで自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 前期に引き続き、日本の古代文学、特に和歌や歌謡に着目し、精読し、その歌の世界を可能な限り深く探求することを目標とする。また散文部分と関わることで歌や作品世界がいかにか深まっているかを考える。本文批判に始まり、語法や語彙について検討し、また歴史的な背景を知ることによって、総合的にその意味や価値について考えてゆく。かつ注釈書や研究書を読解し、索引によって用例を調査する方法についても、実際に触れることによって学ぶ。各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

222213 日本古代文学演習 B I

【到達目標】

- ・日本の古代文学を解釈するために必要不可欠な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古代文学、和歌文学を解釈するのに必ず必要となる、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を身につける。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を組み立てて、他人にわかりやすいことばで提示し、他人との対話を通じて自らの意見を作り上げる力を養う。

【概要】 日本の古代文学、特に和歌や歌謡について、「日本文学（古代）A」と異なる角度からとりあげ、その歌の世界を深く探求することを目標とする。また散文部分と関わることで歌や作品世界がいかにか深まっているかを考える。本文批判に始まり、語法や語彙について検討し、また歴史的な背景を知ることによって、総合的にその意味や価値について考えてゆく。かつ注釈書や研究書を読解し、索引によって用例を調査する方法についても、実際に触れることによって学ぶ。各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

222214 日本古代文学演習 B II

【到達目標】

- ・日本の古代文学を解釈するに必要不可欠な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に古代文学について、辞書・索引・注釈書などの内容を咀嚼して自分のものとし、解釈する力を習得する。

- ・種々の文献をもとに作り上げた自らの意見を他者にわかりやすい形で提示し、対話を通じて自らの意見を作り直す力を養う。

【概要】 前期に引き続き、日本の古代文学、特に和歌や歌謡について、「日本文学（古代A）」と異なる角度からとりあげ、その歌の世界を探求することを目標とする。また散文部分と関わることで歌や作品世界がいかにか深まっているかを考える。本文批判に始まり、語法や語彙について検討し、また歴史的な背景を知ることにより、総合的にその意味や価値について考える。かつ注釈書や研究書を読解し、索引によって用例を調査する方法についても、実際に触れることによって学ぶ。各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

222215 日本中古文学演習 A I

【到達目標】

- ・日本の中古文学を解釈するに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の中古文学、和歌文学を解釈するに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築してわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を構築する力を養う。

【概要】 日本の中古文学の作品を精読し、あわせて平安時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、中古文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

222216 日本中古文学演習 A II

【到達目標】

- ・日本の中古文学を解釈するに必須な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に中古文学を、辞書・索引・注釈書などの文献を利用して解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに構築した自らの意見をわかりやすく提示し、議論のなかで自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 前期に引き続き、日本の中古文学の作品を精読し、あわせて平安時代についての理解を深めさせる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、中古文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解

説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

222217 日本中古文学演習 B I

【到達目標】

- ・日本の中古文学を解釈するために必要不可欠な、基本的知見を身につける。
- ・日本の中古文学、和歌文学を解釈するのに必ず必要となる、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を身につける。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を組み立てて、他人にわかりやすいことばで提示し、他人との対話を通じて自らの意見を作り上げる力を養う。

【概要】 日本の中古文学について、「日本文学演習（中古）A」とは違う角度から取り上げて精読し、あわせて平安時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、中古文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

222218 日本中古文学演習 B II

【到達目標】

- ・日本の古代文学を解釈するに必要不可欠な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に中古文学について、辞書・索引・注釈書などの内容を咀嚼して自分のものとし、解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに作り上げた自らの意見を他者にわかりやすい形で提示し、対話を通じて自らの意見を作り直す力を養う。

【概要】 前期に引き続き日本の中古文学について、「日本文学演習（中古）A」とは違う角度から取り上げて精読し、あわせて平安時代についての理解を深める。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、中古文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

222219 日本中世文学演習 A I

【到達目標】

- ・日本の中世文学を解釈するに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の中世文学、和歌文学を解釈するに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。

・種々の文献をもとに自らの意見を構築してわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を構築する力を養う。

【概要】 日本の中世文学の作品を精読し、あわせて院政期・鎌倉・室町時代の文化・歴史について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化・歴史的背景に注意させつつ、各ジャンルに固有の文学的性格、及び各作品に固有の特徴についても学ぶことができるよう配慮する。各種資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の紹介や、読解の指導も行う。上記の目標達成のため、各学生が担当範囲の問題点・疑問点を整理して発表に臨み、それをもとに討論を重ねる。

222220 日本中世文学演習 A II

【到達目標】

- ・日本の中世文学を解釈するに必須な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に中世文学を、辞書・索引・注釈書などの文献を利用して解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに構築した自らの意見をわかりやすく提示し、議論のなかで自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 前期に引き続き、日本の中世文学の作品を精読し、その文学的性格について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化・歴史的背景に注意させつつ、各ジャンルに固有の文学的性格、及び各作品に固有の特徴についても学ぶことができるよう配慮する。各種資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の紹介や、読解の指導も行う。上記の目標達成のため、各学生が担当範囲の問題点・疑問点を整理して発表に臨み、それをもとに討論を重ねる。

222221 日本中世文学演習 B I

【到達目標】

- ・日本の中世文学を解釈するために必要不可欠な、基本的知見を身につける。
- ・日本の中世文学、和歌文学を解釈するのに必ず必要となる、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を身につける。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を組み立てて、他人にわかりやすいことばで提示し、他人との対話を通じて自らの意見を作り上げる力を養う。

【概要】 日本の中世文学について、「日本文学演習（中世）A」とは異なる角度から作品を精読し、文学的性格について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化・歴史的背景に注意させつつ、各ジャンルに固有の文学的性格、及び各作品に固有の特徴についても学ぶことができるよう配慮する。各種資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の紹介や、読解の指導も行う。上記の目標達成のため、各学生が担当範囲の問題点・疑問点を整理して発表に臨み、それをもとに討論を重ねる。

222222 日本中世文学演習 B II

【到達目標】

- ・日本の中世文学を解釈するに必要不可欠な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に中世文学について、辞書・索引・注釈書などの内容を咀嚼して自分のものとし、解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに作り上げた自らの意見を他者にわかりやすい形で提示し、対話を通じて自らの意見を作り直す力を養う。

【概要】 前期に引き続き日本の中世文学について、「日本文学演習（中世）A」とは異なる角度から作品を精読し、文学的性格について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化・歴史的背景に注意させつつ、各ジャンルに固有の文学的性格、及び各作品に固有の特徴についても学ぶことができるよう配慮する。各種資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の紹介や、読解の指導も行う。本演習でも各学生が担当範囲の問題点・疑問点を整理して発表に臨み、それをもとに討論を重ねる。

222223 日本近世文学演習 A I

【到達目標】

- ・日本の近世文学を解釈するに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の近世文学、韻文を解釈するに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築してわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を構築する力を養う。

【概要】 日本の近世文学の作品を精読し、あわせて江戸時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近世文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

222224 日本近世文学演習 A II

【到達目標】

- ・日本の近世文学を解釈するに必須な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に近世文学を、辞書・索引・注釈書などの文献を利用して解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに構築した自らの意見をわかりやすく提示し、議論のなかで自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 前期に引き続き、日本の近世文学の作品を精読し、あわせて江戸時代についての

理解を深めさせる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近世文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

222225 日本近世文学演習 B I

【到達目標】

- ・日本の近世文学を解釈するために必要不可欠な、基本的知見を身につける。
- ・日本の近世文学、韻文を解釈するのに必ず必要となる、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を身につける。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を組み立てて、他人にわかりやすいことばで提示し、他人との対話を通じて自らの意見を作り上げる力を養う。

【概要】 日本の近世文学について、「日本文学演習（近世）A」とは違う角度から取り上げて精読し、あわせて江戸時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近世文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

222226 日本近世文学演習 B II

【到達目標】

- ・日本の近世文学を解釈するに必要不可欠な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に近世文学について、辞書・索引・注釈書などの内容を咀嚼して自分のものとし、解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに作り上げた自らの意見を他者にわかりやすい形で提示し、対話を通じて自らの意見を作り直す力を養う。

【概要】 前期に引き続き日本の近世文学について、「日本文学演習（近世）A」とは違う角度から取り上げて精読し、あわせて江戸時代についての理解を深める。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近世文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

222227 日本文化演習 A I

【到達目標】

- ・都市のエリアが積み重ねてきた歴史的記憶について理解する。
- ・研究分野がクロスする都市研究の方法を学び基礎力を養う。
- ・個々の文学作品が都市の記憶とどのようにリンクしているのかを分析する力を身につける。

【概要】 都市のなかには、さまざまな特徴を持ったエリアが存在する。ビジネスセンターもあれば、複数のターミナル駅を基盤に発展した新興地域もある。盛装して出かける華やかなトポスもあれば、大衆都市という性格を持つ盛り場もある。それぞれのエリアが蓄積してきた歴史的記憶は、文学を中心とする言語表現に幅広く織り込まれている。都市文化が個々の文学作品と、どのようにリンクしているのかを、総合的に考察する。

222228 日本文化演習 A II

【到達目標】

- ・都市空間を構成する重要なスポットの歴史と変遷について理解する。
- ・研究分野がクロスする都市研究の方法を学び応用力を養う。
- ・スポットの特質や魅力が文学作品にどのように織り込まれているのかを分析する力を身につける。

【概要】 都市空間を構成する要素は多様である。デパートのように生活空間とリンクする消費のスポットもあれば、映画館や劇場のようなエンターテインメントのスポットもある。カフェやレストランのような食文化のスポットもあれば、競技場のように身体活動と結び付いたスポットもある。文学者は生活者として体験したそれらの要素を、文学作品に書き込んでいく。都市空間との関係性に焦点を当てて、作品を新たに読み直す。

222229 日本文化演習 B I

【到達目標】

- ・研究の方法によって、文学作品の異なる世界が開けてくることを理解する。
- ・文化のさまざまな問題系を調査する方法の基礎力を身につける。
- ・作品空間のなかで、文化と文学がどのような関係を有しているのかを分析する力を見につける。

【概要】 文学の読み方は多様である。作者によって統括された世界として読み解く方法は唯一のものではないし、ストーリーや主人公に沿って読む方法が正統的なわけでもない。風・光・雲などを通して組み立てられる自然観や、動物や植物などとの共生観、さらに宇宙観や死生観などの問題系から、文学を読み解くこともできる。文化的背景や社会的背景を参照しながら、作品空間で前景化する問題系を読み解いていく。

222230 日本文化演習BⅡ

【到達目標】

- ・文化が時代によって、また国によって大きく異なることを理解する。
- ・文化的コンテキストを調査する方法の応用力を身につける。
- ・文化的コンテキストが文学作品のなかでどのように機能しているのかを分析する力を身につける。

【概要】 日本の近現代文学は、さまざまな文化的コンテキストに支えられて成立している。恋愛と結婚はその一例だが、明治・大正・昭和と時代をたどれば、恋愛のあり方が大きく変容することが分かる。また海外を舞台とする恋愛小説と比較すれば、日本での恋愛が相対化される。時間軸と空間軸を意識化することで、文化的コンテキストの意味を明らかにしていく。

222231 日本近現代文学演習AⅠ

【到達目標】

- ・近代文学における〈私〉というものの特性を明らかにし、その表現史を理解する。
- ・近代文学研究に必要な基礎知識と研究方法を実践的に学びとり、その応用力を養う。

【概要】 近代文学作品(演劇・舞踊・映画なども含む)を時系列に取り上げ、分析・解釈することによって、そこに現れた〈私〉の特質を明らかにしてゆく。分析にあたっては、〈私〉の置かれている歴史的社会的文化的及び個人的状況を明確化し、それとの相関関係を探る。また、語り分析、精神分析、身体論等を援用して心の深層領域に分け入り、総体としての〈私〉の解明に努める。

222232 日本近現代文学演習AⅡ

【到達目標】

- ・現代文学における〈私〉というものの特性を明らかにし、その表現史を理解する。
- ・現代文学研究に必要な基礎知識を学び、かつ方法論の充実をはかることで応用力を養う。

【概要】 現代文学作品(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を時系列に取り上げ、分析・解釈することによって、そこに現れた〈私〉の特質を明らかにしてゆく。分析にあたっては、〈私〉の置かれている歴史的社会的文化的及び個人的状況を明確化し、それとの相関関係を探る。また、語り分析、精神分析、身体論等を援用して心の深層領域に分け入り、総体としての〈私〉の解明に努める。

222233 日本近現代文学演習BⅠ

【到達目標】

- ・近代文学における、ジェンダー・セクシュアリティ規制のありようを学びとり、近代文学が社会制度や文化から影響を受けつつも、それらを批評的・創造的に乗り越えようとしてきたことを理解する。
- ・ジェンダー研究の発想と方法を学び理解する。

【概要】 近代文学作品(演劇・舞踊・映画なども含む)を時系列に取り上げ、女性学・ジェンダーの視点から分析・解釈することで、その読み直しを図る。考察に際しては、作品の背後に広がる歴史的社会的文化的事象、法制度や経済構造などの変化、メディアの影響等にも目を向け、文学との相関関係を探る。最終的には、近代文学が旧来のジェンダー・セクシュアリティ観に縛られつつも、そこからいかに脱却しようとして新たな表現を獲得していったかを明らかにする。

222234 日本近現代文学演習BⅡ

【到達目標】

- ・現代文学における、脱ジェンダー・脱二分法的セクシュアリティ観の試みを理解し、新たな表現創出のプロセスを学び取る。
- ・ジェンダー批評やクイア批評の発想と方法を学び、それを応用する力を養う。

【概要】 現代文学作品(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を時系列に取り上げ、女性学・ジェンダー的視点から分析・解釈することで、その読み直しを図る。考察に際しては、作品の背後に広がる法制度や経済構造などの変化、メディアの影響等にも目を向け、文学との相関関係を探る。特に後期では、ジェンダー規制や男女二分法のセクシュアリティ観が、現代文学においてどのように組み換えられ、新たな表現を生み出してきたかを明らかにする。

222235 日本近現代文学演習CⅠ

【到達目標】

- ・近代文学において、「生きもの」と「物語の構成要素」と「表現」がどのように結びつきながら総体としての作品(あるいはテキスト)を構成しているかを理解する。
- ・近代文学研究に必要な複数の研究方法を学び理解する。

【概要】 近代文学作品(演劇・舞踊・映画なども含む)を取り上げ、「生きもの(人間・動物・人形・想像上の生命体など)・物語・表現」という三つの観点から、具体的に分析し、それぞれの芸術的特性と文学的意義を明らかにする。また、それと共に該当期の表現史の編み上げを試みる。分析と考察にあたっては、日本古典文学・漢文学の文脈や海外文学の影響等を探ると共に、さまざまな理論と方法(イメージ論、表象文化論、精神分析学、言語学、レトリック論など)を有効に取り入れ、その援用をはかる。

222236 日本近現代文学演習CⅡ

【到達目標】

- ・現代文学において、「生きもの」と「物語の構成要素」と「表現」がどのように結びつきながら総体としての作品(あるいはテキスト)を構成しているかを理解する。
- ・現代文学研究に必要な複数の文学理論や研究方法を学び、それを応用する力を養う。

【概要】 現代文学作品(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を取り上げ、「生き物(人間・動物・人形・想像上の生命体など)・物語・表現」という三つの観点から、具体的に分析し、それぞれの芸術的特性と文学的意義を明らかにする。また、それと共に、該当期の表現史の編み上げを試みる。分析と考察にあたっては、海外文学や文化の影響も考え併せながら、さまざまな理論と方法(イメージ論、表象文化論、精神分析学、言語学、レトリック論など)を有効に取り入れ、その援用をはかる。

222237 日本近現代文学演習D I

【到達目標】

- ・ テーマティックな研究を時系列に行うことを通して、近現代文学史の再構築を図る。
- ・ 作品(あるいはテキスト)に織り込まれた社会的文化的事象を調べることで、解釈における多角的な視座を養う。
- ・ 近現代文学研究に必要な複数の研究方法を学び身につける。

【概要】 近現代文学を対象としたテーマ研究を行う。主要なテーマ、例えば「天体」「自然」「国家」「家族」「生命」「性」といったものの中から一つを選定し、それを軸に作品(演劇・映画・舞踊・サブカルチャーも含む)の分析と解釈を行う。又、その積み重ねによって、そのテーマの生成と変容、複雑化や消滅の歴史を辿ってゆく。考察に際しては、法制度や経済構造などの変化、メディアからの影響等にも目を向け、作品との相関関係を探る。また、必要に応じてさまざまな文学理論や研究方法を学び応用する。

222238 日本近現代文学演習D II

【到達目標】

- ・ 特定のテーマ研究を通して、近代文学とは異なる現代文学ならではの世界観や表現方法を学び、理解する。
- ・ 作品(あるいはテキスト)に織り込まれた社会的文化的事象を調べ、それらとの相関関係を明らかにすることで、解釈を深めてゆく力を育成する。
- ・ 複数の文学理論や研究方法を学び、多角的視点から応用する力を養う。

【概要】 近現代文学を対象としたテーマ研究を行う。主要なテーマの中から、前期(D I)とは異なる、もしくは関連する一つを選定し、それを軸に作品(演劇・映画・舞踊・サブカルチャーも含む)の分析と解釈を行う。又、その積み重ねによって、そのテーマの生成と変容、複雑化や消滅の歴史を辿ってゆく。考察に際しては、法制度や経済構造などの変化、メディアからの影響等にも目を向け、作品との相関関係を探る。また、必要に応じてさまざまな文学理論や研究方法を学び応用する。

222239 漢文学演習 A I

【到達目標】

- ・中国古典文学、または日本漢文を、原点に即して読解する力を身につける。
- ・日本漢文に大きく影響を与えた中国古典文学の特徴とその文化的・社会的背景を理解する。
- ・自己の見解をまとめ、発表し、討論する力及び文章化する力を身につける。

【概要】 中国古典文学または日本漢文の代表的な作品をとりあげ、精読する。中国古代・中世の独特な発想法や修辞について、作品に即して分析し、日本の古代文学などとも対比して考える。同時に時代背景についての理解を深め、中国独自の文化・社会構造をも理解できるようにする。作品を読む上で必要不可欠な語法・語彙について学び、資料の検索方法の知識を身につけ、先行論文を分析する力を養う。また、それらをふまえて自己の考えをまとめ、発表・討論を行う。更に、各自にレポート・小論文の課題を課し、実際に自己の研究を文章化できるよう指導する。

222240 漢文学演習 A II

【到達目標】

- ・中国古典文学、または日本漢文を、読解する力を身につける。
- ・日本漢文に大きく影響を与えた中国古典文学を、その文化的・社会的背景のなかに理解する。
- ・自己の見解を作品論としてまとめ、文章化するとともに、それに基づいて討論し、他者との対話を通じて自らの考えを再構築する力を身につける。

【概要】 中国古典文学または日本漢文の代表的な作品をとりあげ、精読した上で現代語に訳し分析する。中国古代・中世の独特な発想法や修辞について、作品に即して分析し、日本の古代文学などとも対比して考える。同時に時代背景についての理解を深め、中国独自の文化・社会構造をも理解できるようにする。作品を読む上で必要不可欠な語法・語彙について学び、資料の検索方法の知識を身につけ、先行論文を分析する力を養う。また、それらをふまえて自己の考えをまとめ、発表・討論を行う。更に、各自にレポート・小論文の課題を課し、実際に自己の研究を文章化できるよう指導する。

222241 漢文学演習 B I

【到達目標】

- ・中国古典文学、あるいは日本漢文について、原典に即して読解する力を身につける。
- ・日本漢文に大きく影響を与えた中国古典文学の特徴とその文化的・社会的背景を理解する。
- ・自己の見解をまとめ、発表し、討論する力、またそれを文章にする力を身につける。

【概要】 中国中世・近世文学、または日本漢文の中から代表的な作品をとりあげ、精読する。唐「詩」、宋「詞」等の韻文、文言小説、白話小説、日本漢文等の散文から題材を選択し、批判的な読解を行う。また日本文学との関連も検討する。同時に時代背景についての理

解を深め、中国独自の文化・社会構造をも理解できるようにする。作品を読む上で必要不可欠な語法・語彙について学び、先行論文を分析する力を養う。更に、各自にレポート・小論文の課題を課し、実際に自己の研究を文章化できるよう指導する。

222242 漢文学演習BⅡ

【到達目標】

- ・中国古典文学、または日本漢文を、読解する力を身につける。
- ・日本漢文に大きく影響を与えた中国古典文学について、その文化や社会の文脈のなかに理解する。
- ・自己の見解を作品論としてまとめ、他者にわかりやすく提示するとともに、他者と討論し、討論を通じて自らの考えを構築する力を身につける。

【概要】 中国古典文学または日本漢文の中から代表的な作品をとりあげ、精読した上で正確に現代語に訳し分析する。日本漢文や、唐「詩」、宋「詞」等の韻文、文言小説、白話小説等の散文から題材を選択し、批判的な読解を行う。また日本文学との関連も検討する。同時に時代背景についての理解を深め、中国独自の文化・社会構造をも理解できるようにする。作品を読む上で必要不可欠な語法・語彙について学び、先行論文を分析する力を養う。更に、各自にレポート・小論文の課題を課し、実際に自己の研究を文章化できるよう指導する。

222243 古典籍調査

【到達目標】

- ・古典籍の原本調査を行う上でのノウハウを身につける。
- ・書誌学の方面からも古典作品が分析できるようになる。

【概要】 古典文学を真に専門的に研究するためには、他の研究者が翻刻した活字資料で済ませるのではなく、自ら作品の原本を確認、分析する必要があるのは言うまでも無い。本授業では、日本の古典籍を調査、研究するために必要となる書誌学等の専門的な知識や技術を身につけた上で、各自の研究テーマに合わせて自由に原本調査をしてもらい、古典文学をより深く理解するための力を養う。

222244 言語調査Ⅰ

【到達目標】

- ・社会言語学的な言語調査の方法を学ぶことで、言語実態を客観的に捉える力を養う。
- ・フィールドワークを通じて、言語調査の方法を実践的に身につける。

【概要】 現代日本語の状況の実態を把握するための言語調査の方法を学ばせる。日本各地方言の現状を調査するために方言をデータとして収集、分析、解釈する場合のフィールド調査の方法論を概観する。調査対象地点の先行研究の紹介、調査準備としての必須事項、臨地言語調査の企画・立案、調査票の作成（調査項目の設定、質問方法の検討、質問文のワーデ

ィング)、調査の実際における対処事項など面接調査の基盤となる知識と技法を習得させる。併せて、調査結果の整理、報告書のまとめ方にも触れる。

222245 言語調査Ⅱ

【到達目標】

- ・社会言語学的な言語調査の方法を学ぶことで、言語実態を客観的に捉える力を養う。
- ・フィールドワークを通じて、言語調査の方法を実践的に身につける。

【概要】 現代日本語の状況の実態を把握するための言語調査の方法を学ばせる。現代日本語の変異に着目し、言語使用の実態をデータとして収集、分析、解釈する場合の調査方法を概観する。特に、アンケートを中心とした数量的な言語調査の企画・立案、調査票の作成(調査項目の設定、質問方法の検討、質問文のワーディング)、調査の実際における対処事項など調査の基盤となる知識と技法を習得させる。言語行動や言語変化に関わる要因など言語に広く関わる事象の調査方法も検討する。

222246 言語情報処理Ⅰ

【到達目標】

- ・コンピュータで日本語表現を扱う基本的な技術を取得する。
- ・日本語の性質を明らかにするために、コンピュータをどのように活用することが可能であるか考える力を養う。
- ・データマイニングの基礎的な考え方を身につける。

【概要】 日本語(一般に言語)表現をコンピュータで扱う技能や、データマイニングについて、その基礎となる考え方を学んでゆく。実際にコンピュータに向かいつつ、基礎的な技術を取得することをめざす。更には、授業時間外の実習によって、より深い理解をはかる。プログラミング言語(PerlやPython等)によるプログラミングや、既存のツール(KHCoder等)による実習を伴う。

222247 言語情報処理Ⅱ

【到達目標】

- ・コンピュータで日本語表現を扱う応用的な技術を取得する。
- ・日本語の性質を明らかにするために、コンピュータをどのように活用することが可能であるか、自ら探る態度を身につける。
- ・データマイニングの応用的な技術を身につける。

【概要】 日本語(一般に言語)表現をコンピュータで扱う技能とともに、その基礎となる考え方を学んでゆく。実際にコンピュータに向かいつつ、その応用的な技術・考え方を取得することをめざす。更に授業時間外の実習によって、深い理解をはかる。言語表現・情報をコンピュータによって処理する方法を総合的に把握するとともに、先人が見出してきたもの

を習得するだけではなく、コンピュータの活用の可能性を自ら探る態度を身につけることを目標とする。

222248 創作と批評（創作）Ⅰ

【到達目標】

- ・ 創作者の側に立った形での、プロットの着想、表現の創出、さらには先行創作物との向き合い方や享受者への訴え方などを理解する。
- ・ 物語の脚本をはじめ、言葉を用いた創作のスキルを身につける。
- ・ 創作者の立場に立って創作する力を養う。

【概要】 文学研究にとって、創作者の意識・方法を知ることは不可欠である。創作過程において、どのようにプロットが着想され、また表現する間にいかに変容してゆくのか。また自身の表現手法は、どのように自覚され、それが実際の表現の場に、いかに反映されてゆくのか。あるいは、創作者にとって、享受者はどのように意識されるのか。先行する作品は、創作する際に、いかに意識され、利用され、また乗り越えられるのか。以上のような事柄を、物語作りなどにおいて、実作を試みることによって確かめる。

222249 創作と批評（創作）Ⅱ

【到達目標】

- ・ 創作者の側に立った形での、プロットの着想、表現の創出、さらには先行創作物との向き合い方や享受者への訴え方などを理解する。
- ・ 日常をつづるエッセーから小説まで、多様な手法と目的を持った表現行為における創作のスキルを身につける。
- ・ 創作者の立場に立って創作する力を身につける。

【概要】 創作過程において、どのようにプロットが着想され、また表現している間にいかに変容してゆくのか。また自身の表現手法はどのように自覚され、それが実際の表現の場で、いかに反映されるのか。先行する作品は、創作の際にいかに意識され、利用され、また乗り越えられるのか。「創作と批評Ⅰ」で学習した事柄を、多様な表現ジャンルにおいて、実作を試みることによって確かめ、創作者の意識・方法に対する理解を深めることを目的とする。

222250 創作と批評（批評）Ⅰ

【到達目標】

- ・ 文学理論、文化論、社会批評など、批評や評論の分野における知の変遷と現代の潮流を理解する。
- ・ <女性>が、現代の思想や批評においてどのような可能性を秘めた視点であるかを理解する。
- ・ 批評的に論評するためのスキルを身につけ、それを応用して実践的に発信する力を養う。

【概要】 具体的な文学作品、あるいは評論、論評的な記事（新聞・雑誌など）を取り上げて、それらがどのように読者を意識して書かれ、どのような文学理論、文化論など、その時代の知の影響を受け、あるいは時代を導く知を内包しているかを考える。具体的な文章を手がかりに、時代や思想の変遷、現代の知のありかについて考え、批評する力を養う。〈女性〉という視点が現代の知にもたらしているものを考える。こうした自らのなかの批評する知をもとに、わかりやすい文章で、他者に発信する力を養う。

222251 創作と批評（批評）Ⅱ

【到達目標】

- ・文学理論、文化論、社会批評など、批評や評論の分野における知の変遷と現代を理解する。
- ・〈女性〉が、現代の思想や批評においてどのような可能性を秘めた視点であるかを理解する。
- ・批評的に論評するためのスキルを身につけ、それを応用して実践的に発信する力を養う。

【概要】 「創作と批評（批評）Ⅰ」で身につけた力をさらに深める。具体的な文学作品、あるいは評論、論評的な記事（新聞・雑誌など）をもとに、それらが内包する読者意識、同時代の知や慣習、新しい知の萌芽などを論評するとともに、それらを手がかりとして、自らの批評的な文章、記事を実践的に書く。〈女性〉という視点の力を意識して論評する。また文章を書くばかりでなく、編集その他、全体としての構成について目配りしながら発信する力を養う。

■発展演習

222301 日本文学演習Ⅰ

【到達目標】

- ・専門とする分野を考究するための基礎的な知識や方法を身につけ、他者に発信する力を養う。
- ・専門とする分野の文献・資料・データを批評的に読み解く、あるいは分析するための、力や方法を身につける。
- ・専門とする分野を考究する基本的観点を理解する。

【概要】 日本のことば、文学、文化、あるいはそれらと関連の深い漢語や漢文学、中国の文学や文化などを対象とする研究分野において、卒業論文の作成に必要な基盤的力を養成することを目標とする。受講者の関心に合わせつつ、読解あるいはデータ分析のための基礎的なスキルを再確認するほか、対象とする学問分野の解釈・考究のために必要な基礎的な知識、文献調査法、発想、術語、研究史等を、演習形式で確認してゆく。他者に発信する力、先行研究などのほか、討議の場での他者の意見を取り入れて自らの意見を構築する力を養う。

222302 日本文学演習Ⅱ

【到達目標】

- ・専門とする分野を考究するための知識をふまえ、他者に発信する力を養う。
- ・専門とする分野の文献・資料・データを批評的に読み解く、あるいは分析するための、力や方法を身につける。
- ・専門とする分野を考究する観点を理解し、自らの観点を見出す。

【概要】 日本のことば、文学、文化、あるいはそれらと関連の深い漢語や漢文学、中国の文学や文化などを対象とする研究分野において、卒業論文の作成に必要な基盤的力を養成し、各自が自身の卒論のテーマをつかむことを目標とする。受講者の関心に合わせつつ、読解あるいはデータ分析のための基礎的なスキルを再確認するほか、対象とする学問分野の解釈・考究のために必要な基礎的な知識、文献調査法、発想、術語、研究史等を、演習形式で確認してゆく。先行研究などは無論のこと、討議の場での他者の意見を取り入れて自らの意見を構築する力を養い、文章表現など、他者にわかりやすく発信する力を身につける。

■特殊演習

222401 人文学特殊演習（日本文学）Ⅰ

【到達目標】

- ・研究テーマを確定する。
- ・先行研究や作品・資料を読み込む力を身につける。
- ・発表を通して、自分の論を人に伝える能力を身につける。

【概要】 日本文学演習ⅠⅡにおける各分野の研究法の習得をうけて、本格的な卒業論文制作を進めていくことを目標とする。人文学特殊演習（日本文学）Ⅰでは、春休みまでに暫定的に決めたテーマとその見通しを順に発表し、討論することで、自分のめざす論の位置づけを行う。ついで指導教員と相談した上で、最終的にテーマを確定し、資料を再検討する。夏休み中に、論の構成を具体的に固め、論理的な整合性を確かめるために、熟考するよう指導する。

222402 人文学特殊演習（日本文学）Ⅱ

【到達目標】

- ・説得力のある形で自分の論を打ち立て、それを的確な文章表現にする能力を養う。

【概要】 人文学特殊演習（日本文学）Ⅰでの発表や討議、また夏休みの指導（ゼミ合宿など含む）を踏まえて、卒業論文の執筆、完成を目標とする。主体的な問題意識をもとにテーマを設定し、先行研究のなかにみずからの論を位置づけて、自らの思考がわかりやすくかつ論理的に展開されるように、論の構成や文章表現に留意しながら執筆できるようにする。明確な作業行程にしたがい、目標にむかって着々と進むよう指導する。

歴史文化専攻

■ 基盤講義

223001 日本史概論Ⅰ

【到達目標】

- ・ 16 世紀までの日本前近代史に関する基礎的な歴史知識を、体系的に習得する。
- ・ 東アジアとの関連の中に日本列島の歴史を位置づけ、その特質や意義を理解する。
- ・ 社会体制の変化など、大きな歴史の動きをとらえる視点も養う。

【概要】 前近代を中心とした日本の歴史を通観し、日本史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指す。本講義では、上記の目的を達成するため、日本列島における社会の歴史的变化について、とくに東アジアとの関係を重視しつつ、その特質を考察する。時期は紀元前の原始社会、および古代から中世末、近世初頭（紀元後 1 世紀から、16 世紀末）を対象とし、各時期の重要テーマやトピックを中心に、さらにそれらの問題に対する最近の論点・争点も踏まえて検討する。そして政治事件の推移だけでなく、社会体制の変化など、大きな歴史の動きをとらえる視点も養う。

223002 日本史概論Ⅱ

【到達目標】

- ・ 日本の近世・近現代史（17 世紀から 20 世紀まで）に関する基礎的な歴史知識を、体系的に習得する。
- ・ アジア・欧米諸外国との関連の中に日本列島の歴史を位置づけ、その特質や意義を理解する。
- ・ 社会体制の変化など、大きな歴史の動きをとらえる視点も養う。

【概要】 近世・近現代を中心とした日本の歴史を通観し、日本史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指す。本講義では、上記の目的を達成するため、日本列島における社会の歴史的变化について、日本とアジア・欧米諸外国との関係を重視しつつ、その特質を考察する。時期は近世・近代・現代（17 世紀から 20 世紀）を対象とし、各時期の重要テーマやトピックを中心に、さらにそれらの問題に対する最近の論点・争点も踏まえて検討する。そして政治事件の推移だけでなく、社会体制の変化など、大きな歴史の動きをとらえる視点も養う。

223003 アジア史概論Ⅰ

【到達目標】

- ・ 東アジア世界の歴史について、基礎的な知見を獲得する。
- ・ 参考研究などの検索方法について習得する。

【概要】 東アジア地域の基礎的な歴史知識を学ぶことを目標とする。本講義では、中国史を中心として、東アジア地域の前近代から近現代に至る歴史を対象とし、理解を深めることを意図し、歴史上の重要な事項について基本的な学習をする。また、そのためにも講義の過程において史料を配布して、実証的に歴史を学ぶことの必要性を強調し、また、歴史研究が現在の諸問題と深く関係を有していることに注意を喚起する。さらに学生が講義の内容について、積極的に自ら学習できるように、関連する研究成果の紹介に努める。

223004 アジア史概論Ⅱ

【到達目標】

- ・東南アジア・南アジア・西アジアの歴史について、基礎的な知見を獲得する。
- ・参考研究などの検索方法について習得する。

【概要】 東南アジア・南アジア・西アジアの基礎的な歴史知識を学ぶことを目標とする。本講義では、南アジアにおけるヒンドゥー文明、および、西アジアにおけるペルシア文明とイスラーム文明の成立と展開、東南アジアにおけるこれら諸文明の流入と摂取、そして当該諸地域におけるヨーロッパ勢力の進出と植民地支配、各地域の独立など、歴史上の重要事項について基本的な学習をする。また本講義の狙いは、単にアジア史の概略的知識を習得することだけでなく、世界史あるいは人類史への視点を養うことにも置かれる。

223005 西洋史概論Ⅰ

【到達目標】

- ・西洋前近代史に関する基礎的な歴史知識を習得する。
- ・世界史全体の流れの中にヨーロッパ前近代史を位置づけ、その特質や意義を理解する。

【概要】 ヨーロッパ前近代を中心とした西洋の歴史を通観し、西洋史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指す。本講義では、上記の目標を達成するために、西洋史学上重要とされるトピックに焦点を当てつつ、西洋古代から西洋中世までの歴史を概ね時系列に沿って講述する。なお、取り上げるトピックは以下の通り。1. ギリシア世界の成立と展開、2. アレクサンドロスの東方遠征とヘレニズム世界、3. ローマ帝国の成立と展開、4. ヨーロッパ中世世界の成立、5. ヨーロッパ中世盛期とキリスト教、6. ヨーロッパ中世世界の崩壊。

223006 西洋史概論Ⅱ

【到達目標】

- ・近世以降の西洋史に関する基礎的な歴史知識を習得する。
- ・世界史全体の流れの中に近世以降のヨーロッパ史を位置づけ、その特質や意義を理解する。

【概要】 近世以降のヨーロッパを中心とした西洋の歴史を通観し、西洋史を学ぶ上で必要

となる基礎知識の体系的な習得を目指す。本講義では、上記の目標を達成するために、西洋史学上重要とされるトピックに焦点を当てつつ、近世以降の西洋の歴史を、「ヨーロッパ世界の変質」、「外部世界との交流と摩擦」、「世界史への影響」という3つの視点を軸にたどっていく。なお、取り上げるトピックは以下の通り。1. 非ヨーロッパ世界との交流の拡大、2. 主権国家と世界経済、3. ヨーロッパ近代社会の成立、4. 国民国家の成立と帝国、5. 世界支配の確立、6. ヨーロッパの没落と復活、7. 日本における西洋史研究の歴史と特徴。

223007 日本史の理論と方法

【到達目標】

- ・「日本史」という枠組みの成り立ちを考察し、意義と限界を理解する。
- ・日本史を把握し説明するために提唱・実践されてきた見方や構成法について、基礎的な知識を修得する。

【概要】 それぞれの時代状況との関わりによって、研究者の問題関心がどのように生み出され、史料の選択、叙述の構成を経ていかなる歴史像が語り出されてきたのかを講義する。とくに自国史として自明視しがちな「日本史」という考え方について再考し、そこへ向けられて来た多様な視線とその背景を論じる。また、前近代の知性が挑んだ日本史の把握・構成や、近代の歴史研究者たちが強い課題意識をもって適用を試みたグランド・セオリー、さらには、個々の史料解釈と事象説明の中で生み出されてきた学説などにも論及しながら、学史をたどる。

223008 アジア史の理論と方法

【到達目標】

- ・日本を足場としたアジア諸地域の歴史の研究について、意義と問題点を理解する。
- ・アジア諸地域の歴史やそれらをまたぐ展開をとらえるための視点や枠組みの設定について、基礎的な知識を修得する。

【概要】 日本の近隣に接し、長い歴史的な交渉をつづけてきた東アジア、そしてそのかなたの南アジア、西アジアへと至る広大な領域の歴史を、わたしたちは、どのように理解し、論じてきたのか。アジア地域の歴史に対する視線のあり方に留意しながら、諸地域の文明の興亡や諸勢力間の交渉・相克といった人類史的展開をとらえるために様々に編み出されてきた枠組みや、多様な資料のあり方などをめぐって、アジア史へのアプローチの取り組みをたどる。

223009 西洋史の理論と方法

【到達目標】

- ・「西洋史」という枠組みの成り立ちを考察し、意義と限界を理解する。
- ・西洋史を把握し説明するために提唱・実践されてきた理論や方法について、基礎的な知

識を習得する

【概要】 それぞれの時代状況との関わりによって、研究者の問題関心がどのように生み出され、史料の選択、叙述の構成を経ていかなる歴史像が語り出されてきたのかを講義する。とくに歴史教育における「ヨーロッパ中心主義」について再考し、そこへ向けられて来たさまざまな批判とその背景を論じる。また、前近代の知性が挑んだ西洋史の把握・構成や、近代の歴史研究者たちが強い課題意識をもって適用を試みたグランド・セオリー、さらには、個々の史料解釈と事象説明の中で生み出されてきた学説などにも論及しながら、学史をたどる。

■特殊講義

223101 日本古代史料論

【到達目標】

- ・ 日本古代の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・ 古代の文献史料について、具体的な読解の基礎を身につける。

【概要】 日本史上のほぼ7～11世紀の期間に相当する歴史段階を具体的に考察する際の素材となる諸史料について、その類型と特色を整理し、史料理解の前提となる基礎的事項に関する知識の修得を図るとともに、古代の文献史料を検討する上で欠かすことのできない、漢文体の読解法や公文書の様式、木簡・史書・法書の位置づけ、日記の性格などをめぐる基礎事項を解説して、具体例に即した史料理解の手法を提示する。

223102 日本中世史料論

【到達目標】

- ・ 日本中世の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・ 中世の文献史料について、具体的な読解の基礎を身につける。

【概要】 日本史上のほぼ12～16世紀の期間に相当する歴史段階を具体的に考察する際の素材となる諸史料について、その類型と特色を整理し、史料理解の前提となる基礎的事項に関する知識の修得を図るとともに、中世の文献史料を検討する上で欠かすことのできない、「和製漢文体」の読解法、文書の様式や機能などをめぐる基礎事項を解説して、具体例に即した史料理解の手法を提示する。

223103 日本近世史料論

【到達目標】

- ・ 日本近世の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・ 近世の文献史料について、具体的な読解の基礎を身につける。

【概要】 日本史上のほぼ16世紀末～19世紀半ばの期間に相当する歴史段階を具体的に考

察する際の素材となる諸史料について、その類型と特色を整理し、史料理解の前提となる基礎的事項に関する知識の修得を図るとともに、近世の文献史料を検討する上で欠かすことのできない、独特の「候文」の読解法や、各階層が残した文書・記録、あるいは著作・刊行物などをめぐる基礎事項を解説して、具体例に即した史料理解の手法を提示する。

223104 日本近現代史料論

【到達目標】

- ・日本近現代の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・近現代の文献史料について、具体的な読解の基礎を身につける。

【概要】 日本史上のほぼ19世紀後半～20世紀の期間に相当する歴史段階を具体的に考察する際の素材となる諸史料について、その類型と特色を整理し、史料理解の前提となる基礎的事項に関する知識の修得を図るとともに、近現代の文献史料を検討する上で欠かすことのできない公文書の読解や、各階層が残した文書・記録、あるいは著作・刊行物などをめぐる基礎事項を解説して、具体例に即した史料理解の手法を提示する。

223105 日本古代史

【到達目標】

- ・設定主題に関して言及された研究成果について、主要な論点を理解し、古代史の諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。
- ・設定主題に関して提示された古代史料について、位置づけや様式、解釈の実践を理解する。

【概要】 日本史上のほぼ1世紀～11世紀の期間を対象に、列島内外の人々や文物の交渉・往来、支配の構造や政治過程、富の生産・分配の仕組み、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、人々にはたらきかける宗教の営みなどの諸側面から主題を設定して、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的な古代史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

223106 日本中世史

【到達目標】

- ・設定主題に関して言及された研究成果について、主要な論点を理解し、中世史の諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。
- ・設定主題に関して提示された中世史料について、位置づけや様式、解釈の実践を理解する。

【概要】 日本史上のほぼ12～16世紀の期間を対象に、列島内外の人々や文物の交渉・往来、支配の構造や政治過程、富の生産・分配の仕組み、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、人々にはたらきかける宗教の営みなどの諸側面から主題

を設定して、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的な中世史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

223107 日本近世史

【到達目標】

- ・ 設定主題に関して言及された研究成果について、主要な論点を理解し、近世史の諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。
- ・ 設定主題に関して提示された近世史料について、位置づけや様式、解釈の実践を理解する。

【概要】 日本史上のほぼ 16 世紀末～19 世紀半ばの期間を対象に、列島内外の人々や文物の交渉・往来、支配の構造や政治過程、富の生産・分配の仕組み、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、人々にはたらきかける宗教の営みなどの諸側面から主題を設定して、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的な近世史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

223108 日本近現代史

【到達目標】

- ・ 設定主題に関して言及された研究成果について、主要な論点を理解し、近現代史の諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。
- ・ 設定主題に関して提示された近現代史料について、位置づけや様式、解釈の実践を理解する。

【概要】 日本史上のほぼ 19 世紀後半～20 世紀の期間を対象に、地域や諸集団のあり方、支配の構造や政治過程、富の生産・分配の仕組み、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、国家間の貿易や外交・戦争などの諸側面から主題を設定して、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的な近現代史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

223109 オリент史

【到達目標】

- ・ 古代オリент史の流れについて基本的な理解を得る。
- ・ 古代オリент史を世界史の文脈のなかに位置づけて、その文化的意味・意義を理解する。

【概要】 古代オリент史は、メソポタミアを中心に、東はペルシア、西はエジプトに至る広大な地域を研究対象としている。この講義では、古代オリент史の重要なトピックに焦点をしばって最新の研究成果を紹介しながら、これらの地域の歴史の流れについて基本的な理解を得ることを目標とする。また、古代オリントの文化・文明は、同時期の周辺地域

および後代の地中海世界に大きな影響を与えたが、こうした影響のありようを概観することによって、古代オリエントの歴史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

223110 中国史

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、中国史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 中国を中心とする地域の長い歴史過程の中に、地域独自の展開や周辺地域との関係、近代欧米勢力の侵蝕、諸集団のあり方、皇帝支配と官僚制、富の生産・分配・交易、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、儒教や政治思想の展開といった諸側面についての主題を設定し、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的な中国史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

223111 インド史

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、インド史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 インドを中心とする地域の長い歴史過程の中に、地域独自の展開や周辺地域との関係、近代ヨーロッパ世界からの接触・侵蝕、諸集団のあり方、支配の構造や政治過程、富の生産・分配・交易、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、人々にはたらきかけるヒンドゥー教やイスラーム教などの営みといった諸側面についての主題を設定し、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的なインド史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

223112 イスラーム史

【到達目標】

- ・イスラーム史の流れについて基本的な理解を得る。
- ・イスラーム史を世界史の文脈のなかに位置づけて、その文化的意味・意義を理解する。

【概要】 イスラーム教とそれを担った諸勢力は、7世紀前半のアラビア半島から始まって、西は北アフリカからイベリア半島へ、北はトルコからバルカン半島へ、東はイラン・中央アジアからインド、そしてペルシア商人によって東南アジアにまで、広大に浸透・展開する。この講義では、波及先における先行文化や王権・部族との相克や融合、あるいは、都市を拠点とする商人・修道団といったネットワークの作用など、イスラーム史の重要なトピックに焦点をしばって最新の研究成果を紹介しながら、イスラームの歴史の流れを世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

223113 ギリシア・ローマ史

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、ギリシア・ローマ史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 ギリシア・ローマを中心に古代地中海世界の歴史を通観し、ギリシア・ローマ史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な修得をめざす。本講義では、上記の目標を達成するために、ギリシア・ローマ史研究における重要なトピックに焦点をあてつつ、ギリシア・ローマの歴史を概ね時系列に沿って講述する。また、古代地中海世界におけるギリシア・ローマの位置や役割に光をあてると共に、ギリシア・ローマが後代の西洋世界に与えた影響のありようを概観することによって、ギリシア・ローマ史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

223114 イギリス史

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、イギリス史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 ブリテン諸島と海外に広がる帝国（植民地）からなる「ブリテン世界」の歴史を通観し、イギリス史を学ぶうえで必要となる基礎知識の体系的な修得を目指す。本講義では、上記の目的を達成するために、イギリス史研究における重要なトピックに焦点をあてつつ、イギリスの歴史を概ね時系列に沿って講述する。また、西洋世界におけるイギリスの位置や役割に光をあてると共に、イギリスが非西洋世界に与えた影響のありようを概観することによって、イギリス史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

223115 ドイツ史

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、ドイツ史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 ドイツを中心に中欧の歴史を通観し、ドイツ史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な修得をめざす。本講義では、上記の目標を達成するために、ドイツ史研究における重要なトピックに焦点をあてつつ、ドイツの歴史を概ね時系列に沿って講述する。また、西洋世界におけるドイツの位置や役割に光をあてると共に、ドイツが非西洋世界に与えた影響のありようを概観することによって、ドイツ史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

223116 フランス史

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、フランス史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 フランスの歴史を通観し、フランス史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な修得をめざす。本講義では、上記の目標を達成するために、フランス史研究における重要なトピックに焦点をあてつつ、フランスの歴史を概ね時系列に沿って講述する。また、西洋世界におけるフランスの位置や役割に光をあけると共に、フランスが非西洋世界にあたえた影響のありようを概観することによって、フランス史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

223117 西洋前近代史 A

【到達目標】

- ・対象とする時代・地域の政治や社会に対する歴史的理解を深める。
- ・関連する文献史料の概要を把握し、検索・読解・分析の方法を身につける。

【概要】 西洋前近代の特定の時代・地域に焦点をあてたミクロの視点から当該地域の歴史をより深く学ぶとともに、隣接諸科学の知見を援用したマクロの視点から当該の歴史をより立体的に理解する。この講義では、おもに西洋前近代の政治と社会にかかわる問題を対象にして、その歴史を理解するうえで重要となるトピックをいくつか取り上げ、研究史を批判的に整理しつつ最新の知見もまじえて講述する。また、関連文献史料の検索方法および内容紹介、史料の読解・分析の方法等を概観することによって、西洋前近代史を専門的に学んでいく際に基盤となる知識および技法を修得させる。

223118 西洋前近代史 B

【到達目標】

- ・対象とする時代・地域の文化や社会に対する歴史的理解を深める。
- ・関連する文献史料の概要を把握し、検索・読解・分析の方法を身につける。

【概要】 西洋前近代の特定の時代・地域に焦点をあてたミクロの視点から当該の歴史をより深く学ぶとともに、隣接諸科学の知見を援用したマクロの視点から当該の歴史をより立体的に理解する。この講義では、おもに西洋前近代の文化と社会とにかかわる問題を対象にして、その歴史を理解するうえで重要となるトピックをいくつか取り上げ、研究史を批判的に整理しつつ最新の知見もまじえて講述する。また、関連文献史料の検索方法および内容紹介、史料の読解・分析の方法等を概観することによって、西洋前近代史を専門的に学んでいく際に基盤となる知識および技法を修得させる。

223119 西洋近現代史 A

【到達目標】

- ・対象とする時代・地域の政治や社会に対する歴史的理解を深める。
- ・関連する文献史料の概要を把握し、検索・読解・分析の方法を身につける。

【概要】 西洋近現代の特定の時代・地域に焦点をあてたミクロの視点から当該地域の歴史をより深く学ぶとともに、隣接諸科学の知見を援用したマクロの視点から当該の歴史をより立体的に理解する。この講義では、おもに西洋近現代の政治と社会にかかわる問題を対象にして、その歴史を理解するうえで重要となるトピックをいくつか取り上げ、研究史を批判的に整理しつつ最新の知見もまじえて講述する。また、関連文献史料の検索方法および内容紹介、史料の読解・分析の方法等を概観することによって、西洋近現代史を専門的に学んでいく際に基盤となる知識および技法を修得させる。

223120 西洋近現代史 B

【到達目標】

- ・対象とする時代・地域の文化や社会に対する歴史的理解を深める。
- ・関連する文献史料の概要を把握し、検索・読解・分析の方法を身につける。

【概要】 西洋近現代の特定の時代・地域に焦点をあてたミクロの視点から当該の歴史をより深く学ぶとともに、隣接諸科学の知見を援用したマクロの視点から当該の歴史をより立体的に理解する。この講義では、おもに西洋近現代の文化と社会とにかかわる問題を対象にして、その歴史を理解するうえで重要となるトピックをいくつか取り上げ、研究史を批判的に整理しつつ最新の知見もまじえて講述する。また、関連文献史料の検索方法および内容紹介、史料の読解・分析の方法等を概観することによって、西洋近現代史を専門的に学んでいく際に基盤となる知識および技法を修得させる。

223121 考古学（日本）

【到達目標】

- ・おもに日本列島での発掘調査と研究による成果や方法論を理解し、人類の歴史をより広い視野から考える基礎知識を修得する。
- ・遺跡や遺物の保存の重要性と考古学が果たす役割を理解し、文化財を尊重する姿勢を身につける。

【概要】 日本考古学の成果と方法論を学び、歴史学をより広い視野で研究するための基盤とする。この講義では、おもに日本列島での発掘調査と研究の成果を素材とし、旧石器・縄文・弥生の各時期、そして文献史料が存在する歴史時代をも対象に、設定主題に即した遺構・遺物を取り上げて、諸研究を批判的に検討し、最新の知見をまじえながら論じる。あわせて、遺跡・遺物や発掘調査報告書に関する情報の検索方法を教示し、考古資料の解読・分析の方法を具体的に提示する。

223122 考古学（アジア）

【到達目標】

- ・アジア各地での発掘調査と研究による成果や方法論を理解し、人類の歴史をより広い視野から考える基礎知識を修得する。
- ・遺跡や遺物の保存の重要性と考古学が果たす役割を理解し、異文化とその文化財を尊重する姿勢を身につける。

【概要】 アジア各地における考古学の成果と方法論を学び、歴史学をより広い視野で研究するための基盤とする。この講義では、広大なアジアの各地で行なわれてきた発掘調査と研究の成果から、設定主題に即した遺構・遺物を取り上げて、海外を含めた諸研究を批判的に検討し、最新の知見をまじえながら当該地域の人類文明の成り立ちを論じる。あわせて、遺跡・遺物や発掘調査報告書に関する情報の検索方法を教示し、考古資料の解読・分析の方法を具体的に提示する。

223123 考古学（西洋）

【到達目標】

- ・ヨーロッパとその周辺地域での発掘調査と研究による成果や方法論を理解し、人類の歴史をより広い視野から考える基礎知識を修得する。
- ・遺跡や遺物の保存の重要性と考古学が果たす役割を理解し、異文化とその文化財を尊重する姿勢を身につける。

【概要】 ヨーロッパで古くから発展してきた考古学の成果と方法論を学び、歴史学をより広い視野で研究するための基盤とする。この講義では、ヨーロッパとその周辺地域での発掘調査と研究の成果から、設定主題に即した遺構・遺物を取り上げて、海外を含めた諸研究を批判的に検討し、最新の知見をまじえながら当該地域の人類文明の成り立ちを論じる。あわせて、遺跡・遺物や発掘調査報告書に関する情報の検索方法を教示し、考古資料の解読・分析の方法を具体的に提示する。

223124 美術史（日本）

【到達目標】

- ・題材とされた歴史的美術作品について、特質と価値を理解し、日本美術史への関心を深める。
- ・題材とされた諸作品について、日本美術史上での位置づけと意義を知り、作品の背景となった当該期の社会との関連を理解する。

【概要】 日本史上に遺された歴史的な絵画や造形物などの諸作品について鑑賞・考察しながら、作品の製作・享受・流通などとその背景にある技術・技巧や社会的観念、信仰、政治的動向などについても理解を深める。講義では、いくつかの時代区分に基づいて主題を設定し、題材とする作品を選定して写真・図面などを提示しながら、作品理解へのアプローチを試みる。また、作品を生み出してきた各時代の文化について、理解と関心を促す。

223125 美術史（アジア）

【到達目標】

- ・題材とされた歴史的美術作品について、特質と価値を理解し、アジア美術史への関心を深める。
- ・題材とされた諸作品について、アジア美術史上での位置づけと意義を知り、作品の背景となった当該期・当該地域の社会との関連を理解する。

【概要】 アジアの各地に伝存し、あるいは発見されてきた歴史的な絵画や造形物などの諸作品について鑑賞・考察しながら、作品の製作・享受・流通などとその背景にある技術・技巧や社会的観念、信仰、政治的動向などに関しても理解を深める。講義では、アジア美術史の大きな展開を視野に入れつつ、地域や時代に即した主題を設定し、題材とする作品を選定して写真・図面などを提示しながら、作品理解へのアプローチを試みる。また、作品を生み出してきたアジア諸地域の文化について、理解と関心を促す。

223126 美術史（西洋）

【到達目標】

- ・題材とされた歴史的美術作品について、特質と価値を理解し、西洋美術史への関心を深める。
- ・題材とされた諸作品について、西洋美術史上での位置づけと意義を知り、作品の背景となったヨーロッパの当該期社会との関連を理解する。

【概要】 西洋史上に遺された歴史的な絵画や造形物などの諸作品について鑑賞・考察しながら、作品の製作・享受・流通などとその背景にある技術・技巧や社会的観念、信仰、政治的動向などに関しても理解を深める。講義では、西洋美術史の大きな展開を視野に入れつつ、地域や時代に即した主題を設定し、題材とする作品を選定して写真・図面などを提示しながら、作品理解へのアプローチを試みる。また、作品を生み出してきた西洋世界の文化について、理解と関心を促す。

223127 グローバル・ヒストリーA

【到達目標】

- ・「グローバル・ヒストリー」という枠組みの成り立ちを知り、その意義と限界を理解する。
- ・設定主題に沿って提示された研究成果について、主要な論点を理解し、前近代の世界を対象とするグローバル・ヒストリーの諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。

【概要】 地域史や国民史の通史とは異なるものとして構想されたグローバル・ヒストリーの特徴についての基礎知識を修得することを目指す。また、地域に限定されないグローバル・ヒストリーの研究成果を提示し、その意義や限界について考える機会を提供する。この講義では、主に前近代の世界を対象とする事例を用いて講述する。

223128 グローバル・ヒストリーB

【到達目標】

- ・「グローバル・ヒストリー」という枠組みの成り立ちを知り、その意義と限界を理解する。
- ・設定主題に沿って提示された研究成果について、主要な論点を理解し、近代以降の世界を対象とするグローバル・ヒストリーの諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。

【概要】 地域史や国民史の通史とは異なるものとして構想されたグローバル・ヒストリーの特徴についての基礎知識を修得することを目指す。また、地域に限定されないグローバル・ヒストリーの研究成果を提示し、その意義や限界について考える機会を提供する。この講義では、主に近代以降の世界を対象とする事例を用いて講述する。

223129 カルチュラル・ヒストリーA

【到達目標】

- ・「カルチュラル・ヒストリー」という枠組みの成り立ちを知り、その意義と限界を理解する。
- ・設定主題に沿って提示された研究成果について、主要な論点を理解し、非欧米世界を対象とするカルチュラル・ヒストリーの諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。

【概要】 文化を生きられた経験の総体としてとらえ、経済や政治と文化を切り離さずに、日常実践のなかで再生産されるものとして問題化するカルチュラル・ヒストリーの特徴についての基礎知識を修得することを目指す。また、時代に限定されないカルチュラル・ヒストリーの研究成果を提示し、その意義や限界について考える機会を提供する。この講義では、主に非欧米世界を対象とする事例を用いて講述する。

223130 カルチュラル・ヒストリーB

【到達目標】

- ・「カルチュラル・ヒストリー」という枠組みの成り立ちを知り、その意義と限界を理解する。
- ・設定主題に沿って提示された研究成果について、主要な論点を理解し、欧米世界を対象とするカルチュラル・ヒストリーの諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。

【概要】 文化を生きられた経験の総体としてとらえ、経済や政治と文化を切り離さずに、日常実践のなかで再生産されるものとして問題化するカルチュラル・ヒストリーの特徴についての基礎知識を修得することを目指す。また、時代に限定されないカルチュラル・ヒストリーの研究成果を提示し、その意義や限界について考える機会を提供する。この講義では、主に欧米世界を対象とする事例を用いて講述する。

223131 世界遺産学A

【到達目標】

- ・講義でとりあげた日本・アジア圏の世界遺産の歴史的背景や文化的意義について基礎的な知識を習得する。
- ・講義でとりあげた世界遺産の保護と活用をめぐる諸問題について基礎的な知識を習得する。
- ・世界遺産学で用いられる多様なアプローチの方法を理解する。

【概要】 日本・アジア圏の世界遺産をいくつかとりあげて、それらの歴史的背景や文化的意義、保護と活用をめぐる諸問題について論じる。こうした論点から世界遺産の過去と現在を理解して将来を展望するためには、人文学・社会科学・自然科学にまたがる学際的な知見に加えて、異文化理解や国際協力といった国際的視野も求められる。この講義では、世界遺産を学ぶうえで必要となる多様なアプローチの方法について紹介しつつ、とくに歴史学とツーリズムを切り口にして、世界遺産をめぐる諸問題への理解を深める。

223132 世界遺産学B

【到達目標】

- ・講義でとりあげた欧米圏の世界遺産の歴史的背景や文化的意義について基礎的な知識を習得する。
- ・講義でとりあげた世界遺産の保護と活用をめぐる諸問題について基礎的な知識を習得する。
- ・世界遺産学で用いられる多様なアプローチの方法を理解する。

【概要】 欧米圏の世界遺産をいくつかとりあげて、それらの歴史的背景や文化的意義、保護と活用をめぐる諸問題について論じる。こうした論点から世界遺産の過去と現在を理解して将来を展望するためには、人文学・社会科学・自然科学にまたがる学際的な知見に加えて、異文化理解や国際協力といった国際的視野も求められる。この講義では、世界遺産を学ぶうえで必要となる多様なアプローチの方法について紹介しつつ、とくに歴史学とツーリズムを切り口にして、世界遺産をめぐる諸問題への理解を深める。

■ 基盤演習

223201 文献・資料演習（日本古代）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本古代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223202 文献・資料演習（日本古代）A II

【到達目標】

- ・日本古代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223203 文献・資料演習（日本古代）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本古代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223204 文献・資料演習（日本古代）B II

【到達目標】

- ・日本古代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料な

どを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223205 文献・資料演習（日本中世）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本中世の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本中世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本中世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223206 文献・資料演習（日本中世）A II

【到達目標】

- ・日本中世の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本中世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本中世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本中世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223207 文献・資料演習（日本中世）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本中世の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本中世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本中世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223208 文献・資料演習（日本中世）B II

【到達目標】

- ・日本中世の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本中世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本中世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本中世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223209 文献・資料演習（日本近世）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本近世の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本近世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本近世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223210 文献・資料演習（日本近世）A II

【到達目標】

- ・日本近世の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本近世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料な

どを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本近世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本近世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223211 文献・資料演習（日本近世）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本近世の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本近世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本近世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223212 文献・資料演習（日本近世）B II

【到達目標】

- ・日本近世の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本近世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本近世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本近世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223213 文献・資料演習（日本近現代）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本近現代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223214 文献・資料演習（日本近現代）AⅡ

【到達目標】

- ・日本近現代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本近現代学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223215 文献・資料演習（日本近現代）BⅠ

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本近現代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223216 文献・資料演習（日本近現代）BⅡ

【到達目標】

- ・日本近現代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料

などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本近現代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返した上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223217 文献・資料演習（アジア史）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・アジア史上の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 アジア史における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、アジア史に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223218 文献・資料演習（アジア史）A II

【到達目標】

- ・アジア史上の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 アジア史における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、アジア史に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。アジア史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返した上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223219 文献・資料演習（アジア史）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・アジア史上の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 アジア史における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、アジア史に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223220 文献・資料演習（アジア史）B II

【到達目標】

- ・アジア史上の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 アジア史における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、アジア史に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。アジア史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223221 文献・資料演習（西洋古代）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋古代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223222 文献・資料演習（西洋古代）A II

【到達目標】

- ・西洋古代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料な

どを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223223 文献・資料演習（西洋古代）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋古代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223224 文献・資料演習（西洋古代）B II

【到達目標】

- ・西洋古代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223225 文献・資料演習（西洋中世）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋中世の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋中世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋中世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223226 文献・資料演習（西洋中世）A II

【到達目標】

- ・西洋中世の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋中世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋中世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋中世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223227 文献・資料演習（西洋中世）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋中世の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋中世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋中世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223228 文献・資料演習（西洋中世）B II

【到達目標】

- ・西洋中世の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋中世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料な

どを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋中世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋中世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223229 文献・資料演習（西洋近世）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近世の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋近世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223230 文献・資料演習（西洋近世）A II

【到達目標】

- ・西洋近世の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋近世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋近世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223231 文献・資料演習（西洋近世）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近世の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋近世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223232 文献・資料演習（西洋近世）B II

【到達目標】

- ・ 西洋近世の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・ 関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋近世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋近世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223233 文献・資料演習（西洋近現代）A I

【到達目標】

- ・ 歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・ 西洋近現代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・ 報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223234 文献・資料演習（西洋近現代）A II

【到達目標】

- ・ 西洋近現代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・ 関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料

などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋近現代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223235 文献・資料演習（西洋近現代）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近現代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

223236 文献・資料演習（西洋近現代）B II

【到達目標】

- ・西洋近現代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋近現代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

223237 オーラル・ヒストリー

【到達目標】

- ・オーラル・ヒストリーの理論と方法に関する知識を習得する。
- ・インタビュー形式での調査や既存の口述史料の分析を実際に行い、さらにそれらの証言に批判的な検証を加えて歴史を叙述する力を、実践的に養う。

【概要】 オーラル・ヒストリーは、文字史料では明らかになりにくい対象や領域について、

当事者やその関係者にインタビュー形式などでの調査を行い、また既存の口述史料の分析を行うことで、その対象・領域にアプローチする研究方法である。授業では、オーラル・ヒストリーの理論と方法、可能性と課題を確認したうえで、課題の設定—対象の選定—調査項目の設定—調査の実施—分析・検証—データの保存・管理、という一連の流れを実際に体験し、オーラル・ヒストリーによる歴史研究を実践的に学ぶ。

■発展演習

223301 歴史文化演習 I

【到達目標】

- ・文献や史料を正確に理解し、口頭や論述で表現する力を、身につける。
- ・説明を正確に理解し、根拠を示して質疑・応答する力量を、身につける。
- ・当該領域における学説や歴史像、史料についての専門的な知識を習得する。
- ・当該領域に関する辞書・事典・史料集・データベース等について、利用法を習得する。

【概要】 それぞれのクラスが対象とする地域や時代ごとの諸領域に即して、専門的な著作や研究論文、史料などを題材としながら、演習形式で授業を行ない、当該領域での知識と理解の深化を図る。履修者による当該領域に関する研究文献や史料の読解を行なう。また、必要な文献・史料の収集方法や、レファレンスブックの使い方を学ぶ。

223302 歴史文化演習 II

【到達目標】

- ・文献や史料を正確に理解し、口頭や論述で表現する力を、高める。
- ・説明を正確に理解し、根拠を示して質疑・応答する力量を、高める。
- ・当該領域での研究テーマ設定を目指し、関連する文献や史料についての専門的な知識を習得する。
- ・先行研究や史料に関する情報を収集・整理する能力を、身につける。

【概要】 それぞれのクラスが対象とする地域や時代ごとの諸領域に即して、専門的な著作や研究論文、史料などを題材としながら、演習形式で授業を進め、当該領域での知識と問題関心の深化を図る。履修者による当該領域に関する研究文献や史料の読解を行なう。また、必要な文献・史料の収集方法や、レファレンスブックの使い方に習熟する。

■特殊演習

223401 人文学特殊演習（歴史文化） I

【到達目標】

- ・履修分野での研究テーマについて、学習に必要な学術論文、史料などを収集する。

- ・史料や学術論文を理解するために必要な知見を獲得する。
- ・論文作成に向けて、蓄積した知識に基づき報告・発表する。

【概要】 履修者が各々の専門分野で修得してきた知識や技術の延長線上に卒業論文の主題を設定し、先行研究を踏まえて自分の論文のねらいを定める過程で、必要な指導を行なう。上記の目標を達成するために、本演習では、研究文献や史料を取り上げ、それらの内容を整理して重要な論点を抽出する訓練をしたり、参加者がそれぞれの研究テーマを中心に研究発表を行なったりする。文献解読や研究発表のための準備作業、授業時における討論を通じて、史資料の探し方と用い方、それらを研究史上に位置づける方法を学び、卒業論文作成に不可欠なノーハウを身につけられるようにする。

223402 人文学特殊演習（歴史文化）Ⅱ

【到達目標】

- ・卒業論文作成に必要な学術論文、史料を収集し、読解する。
- ・卒業論文完成のための文章能力を高める。
- ・卒業論文完成のために必要な専門的、実践的知識を習得する。

【概要】 4年次前期に確定した卒業論文の題目に基づいて、学生自身が主体的に卒業論文を完成させることができるよう、指導する。本演習では、上記の目標を達成するために、まず、中間報告会を開催し、問題設定、篇別構成、分析手法、行論等に関する問題点を批判的に検討し合い、この中間報告会でのレビューを踏まえたうえで、さらに発表および討論を重ねることによって、卒業論文の内容の深化を図る。あわせて、論文執筆のための技法を具体的に指導していく。